

(第8号より続く)

プレマール『中国語文注解』（Notitia Linguae Sinicae）（II）

千葉 謙悟 訳

中国人は本を優雅に書くのと同じように、会話においても同じ文字を使うのであるが、彼らが使う口語¹によって、長い間古代の本において保たれてきた言葉とは異なってきている。そこで中国語の豊富な注記を付することができるように、最初の討論においては使用されるよく似た三種の言語について、その次に書物の言葉について正確に論述し、それぞれがこの著作における二つの部分に対応するようにする、という順序が要求される。

第一部は宣教師の助けとなろう。第一に、中国人が話すその言葉をより易しく認識する。第二に、彼ら自身が順に中国語をよりよく聞き取る。第三に卑俗な文体で書かれた本を味わいつつ読み、準備した上で大部分を読む。第四に、もしいつか必要ならば、ここで述べた類のことは自身で精進されたいという諸点において。

第二部は同じく宣教師たちにとって非常に役に立つであろう。第一に古い本の意味を正しく捉える。第二に書中の他の言い回しを誤ることなく変換する。第三に、もしも望むのであれば、稚拙にはなく、中国語で書くという諸点において、私はより多くの人に益があるようにラテン語を使う。高い祭壇に向かうわが罪人のことを考えようと決心して、私はすべてのものの中から一つの真実を懸命に求めるのである。²

中国語文注解

第一部：口語および卑近な文体について

中国語は単に古い本の中で保守されてきた古くさいものではなく、現在非常によく使われる一般的なものであり、それ自身固有の美しさをもっているのだが、多くの宣教師たちも十分注意しているというわけではない。従って書くことは言うまでもなく、あるべきほどに中国語で話すことが本当にできる人は少ない。

そこで、中国語に固有の特徴とその美しさを述べようと思う。そしてこの第一部においては、

¹ 原文 vulgo。以下「口語」と訳す。

² 英訳本ではこの文章の代わりに「そこで私はこの本について読者諸氏の公正な判断と寛大さを乞うものである」という一文が入る。

洗練された人々に理解されるようにマンダリンの言葉について語り、私が言おうとするすべてを含んだ若干の本に言及することが適切である。しかしその独特な点を述べれば十分であろう。すべては「小説」*xiǎo chōu*³と呼ばれる喜劇と小品に帰着する。第一に「元人百種」*yuán rén bǎi zhǒng*。この集成は元朝の下で流行した喜劇百種類を集めている。そのどれもが四または五幕でできている。第二に「水滸傳」*shuǐ hù chuán*。ただしこの本の隠された優雅さをよりよく味わうべく、才人「金聖嘆」*jīn shèng tàn* が注解をつけて編集したように改良されるだろう。彼は驚くべき作者の作品について初めて解明したのである。その注解には作品について最高の理論が示してある。この十分に長い歴史物語は 75 冊⁴ (中国語では「卷」*kuàn* という) あり、いくつかの版では多くの人によって短い話が付されている。同様に「畫圖緣」*huà tú yuán*、「醒風流」*xǐng fēng liú*、「好逑傳」*hào qiú chuán*、「玉嬌梨」*yù jiāo lí* などがある。⁶

さらにはこうしたどの *xiǎo chōu* [小説] も四巻から五巻、16 から最大でも 20 章 (中国語では「回」*huí* という) であり、それ以上のものはない。

さて、わが著作の第一部において論述しようとしたことに従い、この部は三つに分かたれる。第一章は口語の文法と統語について。⁷第二章では分詞と形態自身が果たす、この言語に特有な語の種類について詳細に述べたい。第三章では語用について述べるだろう。つまり第一にさまざまな、上品に話すための方法を順序立てて集めたい。第二に、いくつかの対話あるいは口語体の芝居の草稿を付言しよう。

第一章：口語の文法と統語について

中国の文体は、談話で使われるものであろうと本に含まれるものであろうと、独自のさまざまな部分から成る。⁸意味が基礎をなさない動詞や示されるものがない名詞、またそれらの働きを表さないものがないように、発話や言い回しはどれも、それが完全であるように意味を持った動詞と、誰が行い何を行ったかを示す名詞とを要求する。副詞、前置詞、分詞やその他の成

³ 以降の本文では声調記号や気音の表示がなかったりそれらが誤っていたりと、ローマ字表記に問題が頻出する。本稿では原文の通りに記したので、特別な場合を除き、ルビでいちいち注記することはない。

⁴ 英訳本では 15 冊とする。

⁵ 英訳本では「ぶ」である。

⁶ 以下は原注である。英訳本にはない。「五作品は元来ひとつづきなのであるが、刪改され、そして読みやすくなった。この最後の作品 (*yo kiao li* [玉嬌梨]) はリヨンのロザリオの司教のように気高く、そのすべてのフレーズが辞書形式で解説されている。しかし卓抜さでは他の三作品に及ばず、その中では *huà tú yuán* [畫圖緣] がもっとも優れている」

⁷ 原語は *grammatica* et *syntaxi*。以下それぞれ「文法」「統語」と訳す。

⁸ 英訳本は「これらは品詞 (*parts of speech*) と呼ばれる」と訳す。

分は、その本質に関わるというよりは話の明確さや潤色にのたためにある。

中国語文法では、文体が含む文字を「虚字」⁹hiū tsée、“空なる字”と「實字」chē tsée、“満ちた、あるいは真の字”とに分ける。“空なる”ほうは文体にとって本質的なものではない。なぜならどれも元来空なのではなく、それ自体は常にある何かを意味するからである。むしろ、字を純粋な分詞として置き換えたために“空なる”と呼ぶのであって、それは「假借」kià tsié、あるいは隠喩を通じたものである。これは固有の意味から他の意味へと変化させられたのである。“真の文字”の「實」は、それなくしては存在することができない字であり、それを「活字」hō tsée “生きているもの”と「死字」ssē tsée “死んでいるもの”とに下位区分する。“生きているもの”を通じて動詞が示され、“死んでいるもの”によって名詞が示される。

いかなる言い回しにおいても、動詞が形成されるのか、あるいはしばしばおこることだが省略されているのかが直ちに把握されるべきである。後にどんな語が動詞の主格なのか、そしていったいどの字を動詞が支配するのか問うべきである。さらにこの三つの習慣によって、意味をもたらすものが本質的に求められ、残った字が空であると理解することが易くなるだろう。他方、ここでは適切で優良な学習のために、書物よりも近しい会話体を収める。

第一節：文法

四つの小節に文法に関わるすべての事項を集約した。第一パラグラフは名詞について、第二は代名詞について、第三は動詞について、第四は残りの品詞について、となるであろう。

1. 名詞について

中国語の名詞は格や数で屈折することはないが、そのすべてが明白に区分されるような正確な注記がある。

第一に、名詞の後ろにおかれる分詞「的」tī は属格をあらわす。たとえば「天主的恩」t'ien tchū tī nghēn。“神の恩寵”。分詞として用いられるすべての字が我々のいう隠喩のように使われるとき、卑近な話し方において、このような字は常にその意味よりも音に注意が行く。そのため「的」tī の代わりに「底」tī や「地」tī を用いることがある。次に、名詞が二つ続き、その意味がたやすく把握されるならば、分詞「的」tī は省略される。たとえば「中國」tchōng kouë, “中央の王国”とはいうが、「中国的」tchōng tī kouë とはいわない。もし、ある名詞が続くならば、後ろから二番目に「的」tī が置かれる。つまり、たとえば「中國的人」tchōng kouë tī gīn “中国人”。tchōng kouë tī [中國的]「話」hoá “中国語”。など。そしてよく省略され、tchōng kouë gīn [中國人]、tchōng kouë hóá [中國話] などと言われる。

⁹ 英訳本は「虚子」に作る。直後の「實字」も「實子」である。

第二に、与格は分詞「於」yū または同音の「予」yū で表される。しかし、必ず用いるのではなく、ある時は省略せねばならなかったり、また他の分詞を用いたり、用法に応じて話すことになる。後述するすべての分詞についても同様に理解せねばならない。

与格の意味で使用する分詞は「與」yù、「和」hó、「對」tóei、「替」t'í などである。¹⁰

「與他^マ厩見」yù t'ā t'sée kién、“彼らは自身を見ることを許す。”

「和他説」hó t'ā choüé、“彼に言え。”

「對他説」tóei t'ā choüé、同上。

「替他説了」t'í t'ā choüé leaò、“彼らに私は言った。”

この言い方で私がわからぬのは、動詞「説」choüé “言う”にある分詞を付けるときに、「説他」choüé t'ā は“彼に私は言った”を意味せず、“彼のことを話す”あるいは“彼を責める”となり、t'ā choüé [他説] は“彼が言う”を意味するということだ。

第三に、対格は注記すべき分詞を持たない。動詞の後に置くのが普通である。「我打你」ngò t'à nì “私は君を打つ”。「你打我」nì t'à ngò “君は私を打つ”。のように。しかし他の所で述べるように、しばしば動詞に先行することもある。

第四に、呼格は分詞「阿」で時々識別される。「阿」は名詞あるいは呼びかけられるものに後置される。たとえば「郎君阿」lāng kūn ô “ああ、わが婚約者よ”。二度人名が現れたら、あなたが呼びかけるという印である。主として二人称代名詞「你」nì が続く。たとえば「淡仙淡仙我^マ和你好意縁也」tán sién, tán sién, ngò hó nì hào vóu yuén yé “おお、淡仙、私とそなたは非常に不幸だ”。「嫦娥嫦娥你」“おお、月の女神よ、月の女神よ、あなたは!”。など。太陽のことを「羲和」y hó というように月を t'chāng ngó [嫦娥] というのは、我々の詩文でディアナやアポロンと言うようなものである。

第五に、奪格については、動詞の受動態の部分でも述べるが、ここでも述べておく。ある物が作られる材料は¹¹分詞「的」で示す。たとえば「鐵的」“鉄でできた”。ある種のものが入るのならば t'í [的] は省略する。たとえば“鉄でできた鍋”は「鐵鍋」t'íě kō といい、“銅でできたシンバル”は「銅鑼」tōng lô といい、“銀でできた平たい皿”は「銀盃」in poēi という。しかしこれらは形容詞の基準にあてはまるだろう。それが“鉄の”ではないのに“鉄でできた”という語になるであろうか?¹²もしも我々が自らの疑問を究明すべくこのように追求しだしたら、たくさん提出した文法規則の大部分は役に立たないものとなってしまう、新米の宣教師を引きつけるどころか不安にさせてしまうであろう。

¹⁰ ここから「替他説了」まで英訳本では改行がない。

¹¹ 英訳本ではここに「ラテン語では奪格で表されるが」という一節が入る。

¹² 英訳本ではこれを“鉄の～”というフレーズは“鉄”そのものと全く等しく、形容詞的に用いられている」と訳す。

第六に、複数形は数を表す補助的な文字によって示される。たとえば「数人」*sóu gín* “多くの人々”。「幾句」いくらかの言葉。同様に「都」*tōu* “すべて”もあるが、これは名詞に後置される。たとえば「聖人都在天」*ching gín tōu tsái t'ien* “聖なる人々は天にいる”。¹³「都婁」*tōu yāu* “すべてを欲すること”。「都不要」“私は何も望まない”。しかしこの言い方においては、話の対象となる“それ”または“それら”の省略を十分補ってから理解すること。同様に、「皆」*kiāi* もまた後置される。「人皆有病」*gín kiāi yeòu ping* “人々にはそれぞれ病気がある”、つまり“誰も罪なくしては生まれない”。同じく「衆」*tchóng* があるが、これは先行する。「衆人」*tchóng gín* “すべての人々”。「衆説」*tchóng choüé* “すべての、さまざまな意見”。同様に「諸」*tchū* も前置されなければならない。「諸般」*tchū pouān* “あらゆる方式”で。同じく「們」と「等」がある。たとえば「他們」“彼らは”。「爺門」^マ“我が主人たち”。「你等」“あなたがたは”。¹⁴「每」も見られる。「我每」*ngò mèi* “私たちは”。字を繰り返すのも複数の意味になる。たとえば「日日」*gě gě* “すべての日において”。「家家」*kiā kiā* “すべての家。または家族”。そのとき先に述べたあの「都」がしばしば加えられる。たとえば「人人都來了」*gín gín tōu lái leò* “すべての人が来た”。ついで、しばしば一般の数詞で複数形が形成される。たとえば「万物」*ván oüé* “一万のもの。あるいはすべてのもの”。「百般」*pě pouān* “100の方法で。つまりすべての方法で”など。

第七に、実名詞は単独で存在したり、フレーズとなることで完成形になったりするが、自身を補うかのようにある成分が付されることもある。「房子」*fäng tsèé* “家”。「石頭」*chě teou* “石”。「盒耳」¹⁵*hò èi* “小箱”。「女孩子」*niù hái tsèé* “小さな娘”。「小孩子」*siào hái tsèé* “小さな息子”。数を数えるときには、どんなものでも、特定の、自身に特有の標記を持つ。ここに少し例を挙げよう。

“三人の男”「三位老爺」*sān ouéi lào yé*
 “ひとかきの駕籠”「一頂轎子」*y kǐng kiáo tsèé*¹⁶
 “一回の食事”¹⁷「一尾魚」*y ouèi yü*
 “一匹の豚”「一口猪」*y k'èou tchū*
 “二頭の牛”「兩條牛」¹⁸*liàng t'iaò nieòu*
 他についての用法は徐々に述べるであろう。¹⁹

¹³ 英訳本ではここに「*tú shing jin*、「都聖人」は正しくない。しかし *tú lái liau*「都來了」“みな来た”。は正しい」という一文が加えられる。

¹⁴ 英訳本には「汝らは」もある。

¹⁵ 英訳本では「盒兒」である。

¹⁶ 英訳本ではこのフレーズの代わりに「*一張桌子*“一つのテーブル”という語が置かれている。

¹⁷ 英訳本では「一匹の魚」と訳す。

¹⁸ 英訳本では「兩隻牛」に作る。

¹⁹ 英訳本には以下のような注がある。「原著者はこの問題を非常に性急にとばしてしまっており、初級学習者はこの数行の内から用法や量詞(千葉注:原語 classifier)の重要性について非常に誤った考え

技術または仕事を示す名詞は自身の後ろに分詞「的」tí をもつ。たとえば「讀書的」tōu chū tí “文人または学生”。「判頭的」t'í teòu tí “理髮師”。「打鐵的」tà t'ie tí “鉄鍛冶屋”。など。しかしこれらは前の字が動詞であることから分詞であるとすることができる。第一字目が動詞で二字目を支配し、tí [的] は他のところで与格の印であったように、分詞の標記である。

第八に、形容詞はよく「的」tí を有する。たとえば「好的」hào tí “よい”。「歹的」tài tí “わるい”。「白的」pé tí “白い”。「黑的」“黒い”。などである。意味が十分に明確ならば省略される。たとえば「聖人」chíng gín “聖なる人”。「大邦」tá pāng “大きな王国”。「明言」míng yēn “はっきりした言葉”。などである。もし字が繰り返され形容詞として用いられるならば、「的」tí は加えられなければならない。たとえば tá tá tí fāng tsè [大大的房子]²⁰ “大きく広々とした家”。もし二つの語が同義あるいは関連したものであるならば、「的」tí を置くか加えるかは任意である。たとえば fòu kouéi tí gín [富貴的人]²¹あるいは fòu kouéi gín 「富貴人」“豊かで名声ある人”。動名詞は、そのように呼ばれるごとく、「可」k'ò で表される。「可敬」k'ò k'ing “尊敬に値する”。「可惡²²」k'ò óu “憎らしい、あるいは憎むべき”。そして k'ò k'ing tí [可敬的]、k'ò óu tí [可惡的] のように tí [的] を加えることもできる。物や人が後続するときにはよく加えられる。たとえば “愛らしい花”「可愛的花」k'ò ngái tí hoá。「可惡的賤人」k'ò óu tí tsien gín “軽蔑すべき憎らしい男”。など。

2. 代名詞について

第一に、“私”は「我」ngò。“あなた”は「你」nìあるいは「您」gín²³である。“彼”は「他」t'ā である。きわめて親しい間柄であったり、平民が話したり、主人が奴隷にというように上位の者が下位の者に話しかけたりするのでない限り、中国人にとってその“私”や“あなた”を使うのは上品ではない。そのため中国人が自らと他者をどのように呼んでいるのか知らなければならぬ。非常に多くの語が上品なものとして以下で、あるいは終章で出てくるので、私はここでは多くに言及しない。「門生」mên sēng、あるいは「學生」hiò sēng、あるいは「晚生」òuàn sēng “学生たる私”。「小弟」siaò tí “あなたの弟たる私”。「小的」siaò tí “召使いたる私”。「罪人」

を持ってしまふであろう。これらのより整備されたリストについては *Easy Lessons in Chinese* の第七章 173 頁を参照すること。この中で言及されている *Easy Lessons in Chinese* とは Samuel Wells Williams (衛三畏) の *Easy Lessons in Chinese: or Progressive Exercises to facilitate the study of that language, especially adapted to the Canton Dialect.* (拾級大成) Macao:1842 のことである。

²⁰ 英訳本には「大大的房子」が付されている。

²¹ 英訳本には漢字も付されている。

²² 英訳本では「惡」の右上に去声に読むことを示す○が付されている。以下の「可惡的賤人」でも同じ。

²³ 英訳本では「非常にまれに、「您」^{ママ}lin」とする。

tsóui gín “罪人たる私”。などである。「老爺」lào yè “主人にして教師、あるいはマンダリンなるあなた”。「老夫人」lào tá gín “偉大な男子たるあなた”。²⁴「老人家」lào gín kiá “老人”。「老師」lào sé “教師”。「神父」chín fòu “靈的な父”。など。

第二に、「我的」ngò tī “私の”。「你的」“あなたの”。我々の親族について言うときは、「家父」kiā fòu “私の父”。「家母」kiā mǔ “私の母”。「寒家」hán kiā “私の家”。「令親」chè t’sīn “私の親戚”。「小价」siaò kiái “私の使用人”。「賤恙」tsián yang “私の病”。「敝處」pí t’chú “私のいるところ。あるいは私の由来するところ”。しかしこの方式において言われる物や人に先行する語はみな謙遜の語である。²⁵

対照的に、あるものや人について話すときは非常に名譽ある形容詞がつけられる。“あなたの父”「令尊」líng tsūn。“あなたの母”「令堂」líng táng。「太老爺」t’ái lào yè “あなたの父”。「太太」lào t’ái t’ái “あなたの母”。²⁶「上姓」cháng xìng “非常に優れたあなたの家族”。「芳名」fāng míng “あなたの独自の²⁷お名前”。「尊顏」tsūn yén “あなたの顔”。「貴體」kúe t’ì “あなたの身体”。などである。

第三に、「己」kǐ について。たとえば「自己」tsée kǐ “私自身あるいは彼自身”。同じく「自家」tsée kiā。「親手」t’sēn cheò “彼自身が有する手で”とも、t’sīn keò [親口] “自身の口で”、「親筆」t’sēn pǐ “自身の筆で”ともいう。

第四に、「那」ná “あの”²⁸ について。たとえば「那時候」ná ché heou “そのとき”。「那一日」ná yǐ gē “その日”。「那樣的事」ná yang tǐ ss’è “そのようなこと”。「那一本書」ná yǐ pèn chū “その本”。「這」tché は “その。あるいはこの” である。「這人」tché gín “この人”。「這事」tché ss’è “このこと。この仕事”。「這三日」tché sān gē “この三日間”。「此」t’sèè が用いられることがある。たとえば「豈有此理」k’i yeòu t’sèè lǐ “どこにそんな理屈があるのか?”、あるいは“こんなやり方が”。ときどき上品に「豈敢」k’i kàn “どうして私が大胆にも行いましょうか?”。²⁹ のようにも言う。

第五に、「個」kó について。「箇」「个」とも書かれる。文章中のよりよい表現では、人について言うときは常に「個」が加えられる。「好一個人兒」hào yǐ kó gín èr “この人は立派な人だ”。「這個又不中意那個又不中意」tché kó yeòu pǔ tchóng yǐ. ná kó yeòu pǔ tchóng yǐ “これはあ

²⁴ 英訳本ではここに「Tá láu sien sang 「大老先生」“わが高貴なる主人”。Siáng kung 「相公」“学者たるあなた”」の二語が挙げられている。

²⁵ 英訳本ではここに改行はない。

²⁶ 英訳本ではここに「教師たちと話すとき、t’ái t’ái 「太太」は話している教師の、あるいは話題にしている教師の妻について言う」という一文が加えられる。

²⁷ 英訳本では「文字通りには“かぐわしい”」という一節が挿入される。

²⁸ 原文 ille, illa, illud。ラテン語の三つの性すべてが挙げられている。

²⁹ 英訳本では「あるいは“あなたが私に与えようとしているこの榮譽を私が受けるなどどうして仮定できましょうか”」という一文も加えられる。

なたの気に入らず、あれもあなたの気に入らない”。「他是个有心的人」t'ā ché kó yeóu sīn tī gīn “彼は心あるいは良心を持つ男だ。私は彼を信じられる”。「未必是个好人」óuēi pǐ ché kó hào gīn “彼が善人かどうかははっきりしない”。「不要说一个一百个也有」pǒu yaó chōuē y kó y pē kó yè yeóu “一つなどと言うな、百個以上だってあるのだ”。³⁰

「箇」kó についての例。「不曾有箇笑容」pǒu tsēng yeóu kó síao yōng “まだ彼は私に笑ってみせない”。「怎麼説箇不是」tsēng mò chōuē kó pǒu ché “なぜ君はこれがそのようではないと言うのか”。「自有箇出頭の日」tséé yeóu kó t'chū teóu tī gē tsèe “いつのときか彼は頭をあげる（あるいは、自らを救う）”。「是箇非常的怪物」ché kó fēi t'chāng tī kouai oūē, “このような怪物は決していない”。「不過是箇虚文」pǒu koué ché kó hiū vèn “それは空虚な儀式以外のものではない”。「若説這箇是那箇又不是了」jǒ chōuē tché kó ché. ná kó yeóu pǒu ché leào “もし君が³¹これは正しいというのなら、それはただちに偽となるであろう”。「認箇不是」gín kó pǒu ché “誤りを告白する”。³²

「个」kó についての例。「笑个不了」síao kó pǒu leào あるいは「笑个不住」síao kó pǒu tchú “彼は笑いを抑えることができない（君らは友に対して笑い続ける）”、「獨自一个」tōu tsé y kó “連れなしで単独の”、「為何天不再生一个才人做个對手」ouéi hó t'ien pǒu tsái sēng y kó t'sái gīn tsó kó tóuī cheóu “なぜ天は私と同等になるような才能ある人間を創造されなかったのか?”。

ここでの注解：読者はこの著作全体を通じて何度でも回帰するところの、正しい方法について注意してほしい。第一に、さまざまな例を通して学ぶこと以上に中国語をうまく学ぶことはできないということだ。従ってかくも多くの例文があることに読者は驚くことはない。なぜなら、道は文法規則を通せば長く、例を通じてならば短くなるからである。第二には、多くの言葉をつくして説明することが極めてやかかいで煩わしいようなある文法規則を、中国語のフレーズが含んでいないという事態に出会うことはほとんどないからである。第三には、中国語のあるフレーズを、ラテン語で単語ごとに訳していくことはほとんどできないということである。中国語を私の母国語に訳すことはおそらくより簡単であろうが、私は単にフランス人のためだけに著すのではない。³³各人があるいは自分で、あるいは中国人の助力を得て、ある文字列からある意味がいかにか理解されるのかを解き明かすよう試みれば、決してそれは難しいことではないだろう。

第六に、代名詞「其」k'ī は平易な会話に、また特に書面語によく現れる。たとえば「我不解其故」ngò pǒu kiài k'ī kóu “私はそのことの道理を理解していない”。「尚未却知其故」“私はその理由をまだ知らない”。「若論其理」jǒ lún k'ī lǐ “もし話がそのような道理、あるいは考え

³⁰ 英訳本には改行がない。

³¹ 英訳本では「我々が」と訳す。原文は dicas 「君が言う」。

³² 英訳本では改行がない。

³³ 英訳本ではこの一文の代わりに「そうしたフレーズは、おそらくは逐語的に、ある時はある言語で、あるときはまた別の言語で訳されることになろうが」という語がある。

についてのものであるならば”、「其中委曲老夫其事不知」k'i tchōng ouéi k'io̍ laò fōu k'ī ché pōu tchī “私はこのことのあらゆる迂遠な言い方を知らない”。

3. 動詞について

我々の使う動詞は³⁴能動、受動、中動に分けられる。さらに動詞はさまざまな時制、態、人称を持つ。もし複数で行われる動作ならば複数の人称がつく。もし単独ならば単数の人称が付く。このようにさまざまな屈折が同様に時と態についても知られている。中国語はこのすべてに欠けているものの、まことに私見ではあるが、これからいわれるであろうことから明らかなように、損失は決して大きくはない。

存在動詞は非常に多い。第一に「是」ché、たとえば「是小兒」ché siào èi “彼は私の息子である”。「是个好人」ché kó hào gín “彼は良い男である”。第二に「為」ōuei。「為人老實」ōuei gín laò ché “彼は篤実な男である”。「我为兄他為弟」ngò ōuei hong, t'ā ōuei tí “私は兄であり彼は弟である”。第三に「在」tsái。場所を表すときは、例えば「不在家」pōu tsái kiā “彼は家にいない”。第四に「有」yeòu。たとえば「没有人」mǒ yeòu gín “誰もいない”。「有」は助動詞でもある。たとえば「没有說」mǒ yeòu chōüě “私は話さなかった”。

第二に、動作動詞は意味から容易に識別される。たとえば「天主愛人」t'ien tchù ngái gín “神は人々を愛する”。「人敬天主」gín king t'ien tchù “人々は神を敬う”。しかし動詞の主格がその目的語とともに常にこのように描写されるわけではない。それはより多くの場合、話の文脈から求められる。私の集めた多くの例ではうまいこと二人称と同じくらい多く一または三人称をおくことができたが、人称は明白には示されないものである。多くは文脈から、行われている動作についてどの人称であるのか十分によく推測することになる。³⁵

第三に、受動の動詞であるが、もし中国語にそれがあれば、認識されるであろう。第一に分詞「被」³⁶pē。たとえば「被虎吃了」pē hòu k'ī leaò “虎に食われる”。「被你毒殺我也」pē nì hì chǎ ngò yè “君は私を喜びで殺した”。³⁷「吃」k'ī “食べる”もよく使う。たとえば「吃了大餐」k'ī leaò tá king “言葉を食べる。(大いに)驚く。つまり大きな驚きにおそわれる”。「吃打」k'ī tà “打たれる”。「吃人笑話」k'ī gín siaò hoá “私は他人に笑わされる”。また「見」

³⁴ 英訳本は「西洋のアルファベットの言語では」と訳す。

³⁵ この一文は英訳本では「文脈はたいてい十分にはっきりと人称を暗示しているのだが、初学者や母国語の感覚に慣れている人にとって、話者あるいは話されている人を指示する際のこうした不確定性によって主格が表現されないというのは、しばしば非常に困惑することである」という一節になる。

³⁶ 英訳本は「彼」に作る。以下同じ。

³⁷ 英訳本ではここに「または“私はあなたの話で死ぬほど喜んだ”」という一文が加えられる。

kién という字も使われる。たとえば「見殺」kién chǎ “殺される”。³⁸これらおよび似たような例では、常に中国人がどのように話すのかよく注意せねばならない。なぜなら、たとえば、もしあなたが「被我说你好」pī ngò chōüē nì hào “私の言葉によってあなたは良い男になった”と言ってもきつと理解されないであろうし、野蛮な言い方になるであろうからである。³⁹したがってあなたは中国語をあなたのヨーロッパの言葉にさえさせてしまうことのないよう注意し、それよりはむしろあなたの母語が中国語それ自体に適應するようにせよ。

第四に、「了」leàò は過去時を表す。「讲了明白」kiang leàò mìng pè “明白に述べた”。「過」kouó を加えることもできる。この語は元來過去の出来事を意味する。たとえば「説過了」chōüē kouó leàò “私はすでに言った”。「來了」lái leàò “彼は来た”。あるいは意味上の現在“私は来る。私はいる”もありうるし、あるいは意味上の未来“すぐに私は来るだろう”ですらありうる。このように、さまざまな場合により常に意味が変わるのである。「去了」k'íú leàò “彼は去った”、あるいは“私は立ち去る”。同様に「有」yeòù は我々の言語のように過去を表す。⁴⁰「没有説」mò yeòù chōüē “私は言わなかった”。あるいは「完」oüân もそうである。「寫完了」siè oüân leàò “私は書き終えた”。

第五に、未来形は付加語によって⁴¹表される。たとえば「我明日去」ngò míng gé k'íú “私は明日行く”、あるいは“行くだろう”。「要」yáo という字はよく使われる。「我要去」ngò yáo k'íú “私は行きたい”。もし「要我去」yáo ngò k'íú と言ったならば、別の意味“誰かが私に行くよう望んでいる”。となるだろう。同様に「將」tsiāng という字は直近の未来の事物を表す。「將死」tsiāng ssè “ほとんど死にそうだ”。同様に hoéi [會] は未来に使う。「善人會升天」chén gīn hoéi chīng t'ien “善人は天国に上るだろう”。のように。上述した「了」leàò 自身は、多くの言い回しにおいて未来の意味を持つ。「明日都做成了」míng gé tōū só t'chīng leàò “私は明日にはすべて完成させる”。のように。もし「要」yáo を加えて míng gé tōū yáo só t'chīng leàò [明日都要做成了]⁴²のようになれば、意味は“明日私はすべてを完成させたい”。のようになろう。しかしこれまたは同様の例は話の文脈のみからでも容易に把握される。「雖你来我不去」soüi nì lái, ngò pōū k'íú “君が来ても私は行かないだろう”。

第六に、命令法について。中国の洗練された言葉づかいでは、目下の人や身分の低いものに対する場合を除き、ある人に命令するということはない。しかし「你来」nì lái “来い。近寄れ”。(あるいは「你来些」nì lái siē、文字通りには“もっと近くに来い”)「你去」nì k'íú “行け”。

³⁸ 英訳本では「死を見る」という一文も入る。

³⁹ 英訳本ではここに「中国語を話すときには外国語の言い回しにならぬよう気を付けねばならない」という一文がある。

⁴⁰ フランス語の avoir “持つ” は過去分詞とともに大過去形や複合過去形を形成する。

⁴¹ 英訳本では「文脈によって」と訳す。

⁴² 英訳本では「明日都要」までしか記さない。

あるいは「你去罷」ni k'íu pá “行ってもよい”。「你不要哄我」ni pōu yáo hōng ngò “私を笑うな”。ここで、yáo 「要」もまた命令形の印であることがわかるだろう。もし高貴な人によって話されるならば、常に「請」t'sing が先行するが、これは命令というよりは要請である。ある時は、親しい人々またはそうでない人に対しても ni [你] が言われる。たとえば「請坐」“私はあなたが座るよう願う”。「請你看」“私はあなたに見てほしい”。しかしこれらや同様な形は、のちほどよりはっきりした形で現れるだろう。「休」hieōu と「莫」mō は禁止である。「休去」hieōu k'íu “君は行ってはならない”。「莫説」mō choüè “君は言ってはならない”。など。

第七に、「巴不得」pā pōu té または「恨⁴³不得」hén pōu té は願望を述べ、われわれの“～であらんことを”に対応し、従って希求法として機能する。

我々の言語におけるような不定法は、時折実名詞として使われる。たとえば「做官難」tsò kouōn nân “マンダリンを勤めるのは難しい”。しかし中国語に我々の文法で用いられるような多くの用法をあてはめるのは、私には無益なように思われる。忠告としては、そのような価値のない文法は脇へやっておき、選ばれた様々な例文を通して正しい現実的な中国語の使用と練習へ、学習者を迅速かつ有益に導くということである。

4. その他の品詞について

第一に、副詞について。ここには急いで示すべきものは少ない。「這裡」tché lì “ここ。またはここへ”。「在這裡」tsái tché lì “ここだ”。「這裡來」tché lì lái “ここへ来い”。「那裡」ná lì “そこ。あそこ。またはあそこへ”。たとえば「在那裡」tsái ná lì “あそこだ”。「到那裡去」táo ná ly k'íu “そこまで行く”。あるいは疑問詞としても用いる。「那裡去」または「往那裡去」ouàng ná ly k'íu “君はどこへ出発するのか?”。例えば「不往那裡去」pōu ouàng ná ly k'íu “私はどこへも出発しない”。あるいは“私はどこへ行くかを考えている”。⁴⁴「你是那裡人」ni ché ná ly gín “君はどこの人か?” (例えば、「我是那裡人」ngò ché ná ly gín “私はその人だ”。または“そこから来た”)。「在此」tsái tseè “彼はここの人だ”、または“彼はここにいる”。「到此」táo tseè “彼はここへ来た”。「這樣」tché yáng または「這般」tché pōüān “そのように。またはこのように”。「那樣」“その方法で”。「快」kou'ái “速く”、または「快些來」kou'ái siè lái “早く来い。急げ”。「慢」mán “ゆっくりと”。「慢慢」mánmán “徐々に”。「再三」tsái sán “繰り返して”。「再來」tsái lái または「又來」yeóu lái “彼は何度も来た”。「再三再矣」tsái sán tsái y “何度も何度も。またはかわるがわる繰り返して”。「如何」jū hó または「何如」hō jū “どのように”。「常」tch'ang “いつも”。「纔」ts'ai または「方纔」fāng

⁴³ 英訳本では「狠」に作る。

⁴⁴ 英訳本では「私は自分がどこへ行くのかわからない」と訳す。

ts'ai "そのとき"。「還」hoân "その上、まだ"。「寔⁴⁵」ché "まさに"。「唯寔」ouéi chě "たしかに"。「畧」liǒ "いくらか"。「寡」kouà、同上、など。

第二に、前置詞について。ここにはこのようなものがある。「家裡」kiā ly "家で"。「堂中」t'âng tchōng "玄関で"。「黒闇之中」hě ngàn tchí tchōng "暗闇の中で"。そして「之」は書面でよく使われるが、親しいもの同士の会話にあっては「的」tí を使うほうがよい。「同」t'ōng と「和」hò "～とともに、～同時に"。「上」cháng "上で"。「下」hiá "下で" たとえば「天上」t'iēn cháng "天の上で、あるいは天で"。「月下」youé hiá "月の下で、あるいは野外で"。「面前」mién tsi'ên または「當面」tāng mién "～に対して、顔へ"。「我跟前」ngò kēn tsi'ên "私に向かって"。「三天後」sān t'iēn heóu あるいは「過了三日」kouó leàò sān gě "三日後に"。など。

意味がよりはっきりするように二つの字が組み合わせられるというのはよくあることだが、順序を置き換えられるかどうかを知るよう注意せよ。置き換えても同じ意味を保持するものと、置き換えによって異なった意味をもたらす字の目録を作るのがよい。それぞれの種類の例について述べる。「歡喜」houōn hì または「喜歡」hì houōn "よろこぶ"。「打重」tà t'chōng あるいは「重打」t'chōng tà "ひどく打つ"。「往來」ouàng lái または「來往」lái ouàng "行くと帰る"、つまり"交友関係を持つ"。「壹生」t'ōng sēng または「生壹」sēng t'ōng "まだ学位のない学生"。「主張」tchù tcháng あるいは「張主」tcháng tchù "自由な決定"。「母鷄」mò ky あるいは「鷄母」ky mò "めんどり"。「府裡居處」fòu ly kiū t'chú または「居處府裡」kiū t'chú fòu ly "彼は都市の住民のままである"。

二番目の種類は以下のものである。「家主」kiā tchù "家の主人"と「主家」tchù kiā "家を司る"。「天帝」t'iēn tí "天の主宰者"と「帝天」"天を支配する"。「說話」chouě hoá "話す"と「話説」hoá chouě "彼は物語を語る"。「路上」lóu cháng "道から、道で"と「上路」cháng lóu "道を行く"。「天上」t'iēn cháng "天の上で"と「上天」cháng t'iēn "上のほうの天、または天に昇る"。「半斤」pouán kin "秤半分"と「斤半」kin pouán "秤一つ分と半分"。「下馬」hiá mà "馬から下りる"と「馬下」mà hiá "馬の下で、馬の足下で"。「家火」kiā hò "家具、工芸品、道具、台所の皿など"と「火家」hò kiā "職人、家族、友など"。「面前」mién t'siēn "～に向かって"と「前面」mién t'siēn "顔の前"。「弟兄」tí hiong "兄弟"と「兄弟」hiong tí "弟"。

「一酒杯」y tsieòu pōi "飲むワインの入った一つの杯"と「一杯酒」y pōi tsieòu "一つの杯に満たされたワイン"。中国人は我々のように「飲三杯」yn sān pouēi "三つの杯を飲む"という。

第二節：統語

第一の注記。ふつう形容詞は実詞に先行する。もし後続するときは意味が異なってくる。「意

⁴⁵ 英訳本では「實」に作る。次の「唯寔」も同じ。

人」ngǒ gín “悪い人”。「人悪」gín ngǒ “人が不正直だ”。「大房子」tá fāng tseè “大きな家”。「房子大」fāng tseè tá “家が広い”。「善性」chén síng “よい天性”。「性善」síng chén “本質がよい”。他にもついてもこのようである。

第二に、比較級について。言い方が様々であり、すべて注意すべきである。第一に、“これは確かに良いのだが、金銭の方がもっと良い”。「好是好但银子更好」haò ché haò, tán yín tseè kēng haò。第二に、“多いほどよい”。「愈多愈好」yù tō yù haò。“はるかに良い”。「一發好」y fā haò あるいは「越發好」yuè fā haò。“どのくらいが良いのか”。「多少是好」tō chāo ché haò。⁴⁶第三に、“ワインは水よりももっと良い”。「酒比水好多」tsieou pì chòu haò tō、あるいは「酒好於水」tsieou haò yū chòu, または「水比不得酒」chòu pì pǔ tē tsieù, または「酒比水更好」tsieou pì chòu keng haò。⁴⁷第四に、“道理に違うことを行うよりは死の方がよい”。「寧死不可背理」níng sè pǒu k'ò poēi ly, または「寧可死不敢背理」níng k'ò sè pǒu kàn poēi ly。⁴⁸第五に、“その怒りは山が高くあるように、海が深くあるように生じている”。「這口氣積得有山一般高海一般深」tché k'èu k'y tsi tē yeò chān y pōiōn kāo, hǎi y pōiōn chīn。第六に、“必要な量よりも三つ多く加えた”。「多三分」tō sān fēn。“10年と少し”。「十多年」ché tō niēn または「十來年」ché lái niēn。“足ひとつ分高い”。「高一尺」kāo y t'chē。もし y t'chē kāo [一尺高]⁴⁹と言ったら、“足ひとつ分の高さ”となる。

第三に、最上級について。それらはこのような形である。“最高、最高に、または最高の”。「好得緊」haò tē kin。「好不過」haò pǒu kōuó。「上好」cháng haò。「極好」kī haò。「絶好」tsuē haò。「十分好」ché fēn haò。「好好的」haò haò tī。これらの例から他を類推するのは易しい。たとえば“驚くべき”。「極妙」kī miào。「妙絶」miào tsuē など。“最高の序列にある”。「上等的」cháng tēng tī あるいは「上品的」cháng p'ín tī。“極めて長く、または最も長く”。⁵⁰「好久」haò kiou または「良久」leāng kiou など。

第四に関係詞について。第一に、「所」sò。「意所不能」voù sò pǒu néng “できないことは何もない”⁵¹、または“全能の”。「有所不知」yeòu sò pǒu tchī “君の知らないことがある”。「我所説」“私の言ったこと”。第二に、二つの動詞に挟まれた関係詞は表現されない。もし置かれたならば、それは余計なものである。従って ché nì sò chòuē [是你所説] の代わりに「是你説的」ché nì chòuē tī というのである。

第五に質問と応答について。“君は言ったか?”。「你說了麼」nì chòuē leàò mò? 答え。「說了」chòuē leàò “私は言った”、または「沒有説」mǒ yeòu chòuē “私は言わなかった”。「不會

⁴⁶ 英訳本ではここに改行がある。

⁴⁷ 英訳本ではここに「この四つの文はすべて同じ意味である」という一文が入る。

⁴⁸ 英訳本ではこの文に「私は誤ったことをするよりは死んでしまいたい」という別の訳を付す。

⁴⁹ 英訳本には漢字表記がある。

⁵⁰ 英訳本ではここに「非常に長い時間」という一文が加えられる。

⁵¹ 英訳本ではここに「彼にできないことは何もない」という一文がある。

説] pōū tseng chouë “私はまだ言っていない”。同様に、「肯不肯」k'èng pōū k'èng “君はしたいか?”。「来不来」lái pōū lái “彼は来るか、あるいは来ないか?”。「好不好」hào pōū hào “それは良いか、良くないか?”、など。他の疑問の言い方は別の場所で述べられるであろう。

第六に、動詞について。私が述べたように主語は先行しなければならない。しかし動詞の目的語を先行させることもできる。支配層の言葉では「而我不许」euill ngò pōū hiù “そして君は我々を許さない”。のように言う。「拿水来」ná chòuì lái または「取水来」k'ān chòuì lái、動詞によれば“水を見よ、そして来い”の代わりに「水拿来」chòuì ná lái “水を持ってこい”。のように言うこともできる。「酒拿去」tsiou ná k'iu “ワインを持ってこい”。など。

ここまで私は文法と統語について少し述べたがこれで十分である。特に以下の章節では再び出会うのであるが、そこでは大量かつつまらない規則を通して中国語を学ぶよりも、例文から学んだ方がはるかによいのである。

第二章：中国語の独自の性格について

この言語の豊かさ、美しさ、力強さはある常用字の使用、さまざまな品詞、さらには独特の話し方によって現れる。⁵²そのため私はこの三つの記事と相応のパラグラフにおいて十分かつ正確に論じたいと思う。

第一節：若干の文字の用法について

話される中でよく現れる語と、その用法がさまざまかつ変化の複雑なものとを区分する。私が先に述べた中国語の特色、すなわち中国語の豊かさを一度に知ることができるように、また新来の宣教師たちが徐々に、まるで遊戯でもするかのように話すことを学んでいけるように。

1. 「得」TÉ について

この字は“得る、持つ、～できる”を意味する。しかしこの語の用法がどれだけ幅広いかを以下の注記から明らかにしたい。

第一に、「得」tè はあらゆる動詞の後に組み合わせることができる。そしてその意味がさらに加えられるのだが、そこにおかれたラテン語訳から、そして用法から意味は会得される。「作得」tsó tè “することができる”。「作不得」tsó pōū tè “することができない”。「来得」lái tè “彼は来

⁵² 英訳本では以下の文が続く。「そして我々の崇敬を不思議なほど高めるのである」

た”。あるいはポルトガル人が言うように“行ける”。⁵³「來不得」lâi pòu tè “彼は来なかった”。

「不得來」pòu tè lâi “彼は来ることができない”。「説不得」chouě pòu tè “彼は言うことができない”。しかしこの最後の文はよく“賽は投げられた。何者も反対できない”という意味を表す。そして「不得説」pòu tè chouě “私は言うことができない”。「莫有得説」mò yeòu te chou “私は言うことができなかった”。⁵⁴「説不得了」choue pòu te leàò “これは今私が言うべきではない”。または我々フランス人が言う“それはすべきではない”。⁵⁵そして「説不得他」choue pòu te t'a “彼は告発され得ない、彼の罪ではないのだから”。あるいは“誰も彼に話しかけない”。「行不得快」hing te pòu k'ouai “彼はそんなに速くは歩かない”。「行不得快」hing pòu te k'ouai “彼らは急いで行くことができない”。「講得着」kiang te tchǒ または「講得有理」kiang te yeou li または「説得實」⁵⁶ “これは道理を持って語られる”。「不通得」pòu t'ong te “彼は感じない”。「通不得」t'ong pòu te “彼は感じるができなかった”。「得意」te y “彼は満足している”、または“彼は正しく事を行ったと思っている”。「得意了」te y leàò “彼は熱中している”。「定不得規矩」ting pòu te kouei kiù “正しい習慣、または普遍の法則を決定できない”。「得閑」te hién “彼には時間がある。閑だ”。「不得閑」pòu te hién “彼には時間がない”、または「不得工夫」pou te kong fou “彼には閑がない”。「不得已」pou te y “彼らは自制することができない、それは彼の能力ではない”。「不得了」pou te leàò “彼らは完成させることができない。終わりががない”。「看得见」k'an te kien “目に見えて”。つねに関わりの薄いものやほとんど記憶に残らぬものを指す。「不能得穀」pou nêng te kéou “できない。力が足りない”または“十分でない。能力がない”。「能穀」nêng kéou は“できる”を表す。「得穀」te kéou は“能力がある”である。

「罵得响」ma te hiang “彼はひどく罵られた”。「餓得真是可憐」ngò te tchin che k'o lien “彼は飢えて苦しみ同情されるにいたる”。「惹得滿臉如火」gè te mouon lien ju ho “彼は顔全体が激昂しているのが分かるほど怒っている”。「喜得心花俱開」hi te sîn hoa kiü k'ai “喜びのために心が花のように開いている”。「嚇得魂不在身」he te, hoen pou tsai chin “恐れのために魂が身体からなくなった”。「嚇得面如土色」he te mien ju t'ou se “恐れのため、彼の顔は地面の色になってしぼんでしまった”。「如何理論得他過」ju ho li lun te t'a kouo “我々はどうやって彼に襲いかかるのか”または“どんな道理で我々は彼を討論において打ち負かすのか?”。「真個難得」tchin ko nan te “まことに珍しい”。「難得到此」nan te tao ts'ee “難しさはここまで達した”。または“ここに来るのは非常にまれだ”。「説不得話不得」choue pou te, hoa pou te “彼の周りです

⁵³ 原文はポルトガル語で pode passar.

⁵⁴ 英訳本では以下に「よりよい形としては「莫有得説」“いうまでもない”という一節を加える。

⁵⁵ 以下フランス語訳がしばしば現れるが、英訳本ではラテン語訳とフランス語訳がある場合、より適当な一方のみを記す傾向にあり、またフランス語部分からの訳であることを断ってもいない。したがって本稿では、フランス語部分の訳が英訳本に見あたらなくてもいちいち注することはない。

⁵⁶ 英訳本では「説得是」に作る。

やべつてはならない”。「死不得活不得」ssee pou te, hoa pou te “死ぬことも生きることもできない”。より一般的には「要死不得死要活不得活」yao ssee, pou te ssee, yao hō, pou te hō。

第二に、「得」te は「省」seng や「免」mien と結合する。たとえば「他也免得受氣我也省得勞心」t'a ye mien te cheou k'y, ngò ye seng te laò sìn “この点で私と彼は徒勞から解放される”。「兩個都許他省得好了一個虧了一個」leang ko tou hiu t'a, seng te haò leaò y ko, k'ouei leaò y ko “彼が二個とも持つのを大目に見れば、一人は幸せだし他人もみじめではない”。「省得後來埋怨」seng te heou lai mai youen “後に彼が不満に思うことはないだろう”。「省得路上泥滑滑的不好走」seng te lou chang ni hoà hoà tí, pou hao tseou “あなたは道が泥だらけですべるといふ困難を免れるだろう”。「省了許多是非口舌」seng leaò hiu to che fei k'eu che “彼らはたくさんの口論を免れた”。この最後の文においては「得」te が付かない。なぜなら過去に関することだからである。

第三に、「不得」pou tè は「已」pā または「恨」hén の後ろにおいて願望をあらわし、我々の“～あらんことを”に対応する。「我已不得要來」ngò pā pou tè yáo lái “私は心から訪れたいと思う”。「已不得買他快活」“彼が喜びを表すことほど大事なことはない”。「恨不得身生兩翼」hén pou tè chīn sēng leang y “私に翼があったらいいのに”。「我恨不得剝出他的心肝把與狗吃」ngò hén pou tè ouā t'chōu t'ā tí sìn kān pà yù keou k'ī “彼の心臓と肝臓を引き裂いて犬に与え貪り食わせられたらいいのに”。

第四に、tè「得」は形容詞にも結合させられる。例えば「妙得極」miào tè kī “最高に驚くべき。つまり最高の”、など。または副詞にも使える。たとえば「少不得」chào pou tè、フランス語の“欠かせない”である。

第五に、「得」の代わりに、全くその意味での「的」が見いだされる。例は非常に多い。「雨大的緊」yù dà tí kīn “雨がひどい”。「他斯文人吃不着的」t'ā ssē vèn gīn k'ī pou tè “彼は優雅ではあるけれども完成には達していない”。「說的足」chouē ti che または「道的極足」táo tí kī ché “君は正しいことを言っている”。「理會的」lì hoéi ti “私は正しく理解した、把握した”。「學的一個法兒」hiō ti y kó fǎ ēll “私は一つの方法を知っている”。「已不着的他出去了」pā pou ti t'ā t'chou k'iu leao “もう彼が出かけていたらいいのに”。「曉的」hiaò ti “わたしは知っている、できる”。

「說不着的了」chouē pou ti leaò “これについてはもはや話すべきではない、または行われるべきではない”。「當不着的目光如火」tāng pou tí mōu kouāng jū hò “彼らはその目から放たれる炎を押さえることができなかつた”。

2. 「把」pà について

この字は口語では“取る”または“手でつかむ”を意味する。しかし中国語の用法では、それを宣教師たちがほとんど注意を向けていないさまざまな方法で組み合わせるのである。

第一に、ことに以下の例では“手でつかむ”から変化してきている。「把手」pà cheòu “満洲人が客を見送ったり案内したりするあいさつのときのように、手を取る”。よく「拉手」lǎ cheòu “ひったくる、あるいは(文字通りには)手を引く”ともいう。「把紙兒扯得粉碎」pà t'chì eùll t'chè te fèn souí “紙を持って一枚ずつ裂く”。「把難題目去難他」pà nán t'y mou k'iu nan t'a “彼を鍛えるため難しい論議を選び出した”、つまり“彼は大きな困難を与えた”。「把門上拽上關」pà mén cháng sie chang kouan “彼はドアにかんぬきを掛けた”。「把他拉到房内」pà t'ā, la tao fang nuei “彼を捕まえて部屋の中へ引っ張っていった”。「你们把床抬來這裡坐着」ni mèn pà t'choàng t'āi lái, tché li tso tcho “おまえたちは椅子をつかんで持ってきて、彼を座らせよ”。「把我百般呪罵」pà ngò pe pouon tcheou ma “彼は私を1000の誹謗に引き合わせ、呪いによって非難した”。「把索子縛綁了」pà so tsee fou pang leao “彼は縄で捕らえて縛り上げた”。「把腦蓋僻得粉碎」pà nao kai p'i te fen soui “彼は頭蓋を無数のかけらに砕いた”。「把这燈都吹殺了」pà che teng tou tch'oui cha leao “このすべての灯りを消せ”。「把舌頭伸將出來」pà che t'eu chin tsiang t'chou lái “変なことを見たり聞いたりしたときによくするように、舌を出す”。⁵⁷「把这後頭腦的事問他一聲」pà tche mo t'eu nao ti ssee ven t'a y ching “この複雑な問題について彼に簡単に尋ねてみよ”。「把惡氣兒揣在懷裡將出好氣兒來看他」pà ngo k'y ell tcho'ui tsai hoai ly, tsiang t'chou hao k'y ell lai k'an t'a “彼は荒々しい様相を懷に隠して、陽気な顔を見せた”。「且把酒來盪寒」tsiè pà tsiou lái táng hàn “寒さを解くためにワインを持ってこい”。「把天來的一番重任担在他一個肩頭」pà t'ien lai ti y fan tchong gin, tan tsai t'a y ko kien t'eu “かくも重い⁵⁸任務は彼の肩に負われた”。

第二に、以下の言い方では「把」は不適當でない限り“手に取る”を意味しない。⁵⁹「今日把一天工夫全費了」kin ge pà y t'ien kong fou ts'uen fei leao “今日まるまる一日を仕事に使った。または費やした”。「把秋波一轉」pà t'sieou po y tchouen “彼は軽く目をそらした”。tsieou po [秋波] “秋の波”、美しい目のことをこう呼ぶのである。「把眼偷睨」pà yen t'eu tsun “ひそかに見る”。「於是把擇婿的念頭歇息了」yù ché pa tse si ti nien t'eu, hie si leao “そのとき婿を選ぶという考えは休み消えた”。「把我們的生意弄得這般冷淡」pà ngò mēa ti seng y, long te tche pouan leng tan “彼のせいで我々の商売はかくも衰えた”。「把好事翻成藥障」pà hao sse, fan t'ching nie tchang “彼は最高の状態にあったものを最低にした”。fàn [翻] は“急に回転する”。nie [藥] は“破壊する”。tchang [障] “阻止する”。「把眼揉得緋紅」pà yen jeou te fei hong “彼は目をこすって赤くした(多くの涙を流すとき)”。「把腰一伸」pà yao y chīn “腕を伸ばして身体全体をのばす”。「把真心話都對他說了」pà chin sin hoa tou t'oui t'a choue leao “彼に心に思うことをすべて話した”。「把我這個老人家丟在腦背後了」pà ngò tché ko lao gin kia, tieou tsai nao pei heou leao

⁵⁷ 英訳本ではここに「このフレーズ、またはこのような多くのフレーズでは、お分かりのように「把」は英語に訳出されない」という一文が入る。

⁵⁸ 英訳本ではここに「tien lái tih[天來的]、天から、つまり非常に重い」という句が入る。

⁵⁹ 英訳本では「後起する動詞の動作対象を示す」という一文が付される。

“私は老いたので彼は私を十分には心配していない”。⁶⁰「我和你把兩件大事各任一樁分頭去做」
ngò ho ni pà leang kien ta sse. ko gin y tchun. fen t'eu kiú tso “我々はこの二つの大きな任務を分けて一つずつを引き受け、各々別にやる”。「把心腸改變了」pà sin t'chang kai pien leao “私は考えを変えた”。⁶¹「把心摩一摩」pà sin mo y mo “私は心に手を置く”。⁶²「把眼色連與他」pà yen se ti yu t'a “彼に目線をやる”。⁶³「把臉飛■⁶⁴了」pà lien fei hong leaò “彼は顔全体が赤くなった”。「把他灌醉了」pà t'a koüan tsóui leaò “彼を意に反して酔わせた”。

第三に、フランス語の“～とみなす”を意味することは珍しくない。「把我们看得恁賤」pà ngò mèn k'án tē gin tsien “君は我々を何者でもないように扱う”。「把富貴做浮雲可比」pà fòu kouéi. tsò feóu yün k'o pí “彼は富と貴さを移動する雲のようにみなしている”。「把金銀視為糞土」pà kin in chí ouéi fén t'òu “彼は富を糞のようにみなしている”。「他把我認做真的我把他當了假的」t'ā pà ngò gin tsó tchín tí, ngò pà t'ā tāng leaò kià tí “彼は私を誠実だと思っているが、私は彼を不誠実だと思う”。「把那賊子當做好人」pà ná tsě tseè, tāng tsó hào gin “無能な彼を良い男だとする”。「把客當家把家當客」pà k'ē tāng kiā. pà kiā tāng k'ē “外ではまるで家にいるかのようであり、家ではまるで外にいるかのようだ”。これは中国人が商人たちについて言うのである。

第四に、あるものを数えるのに使う。例えば「一把鎖」y pà sò “一個のかんぬぎ”、フランス語では“南京錠”。「把一把鎖鎖了」pà y pà sò sò leaò “彼はしっかりと鍵をかけた”。⁶⁵「把」pà は動詞であるが、後ろのものは名詞である。「鎖」sò は名詞だが、二つ目のものは動詞である。「一把火」y pà hò “火。または火のついた松明”。「放起一把火把這廟燒做白地」fang k'í y pà hò tché miáo chāo tsó pé tí “彼は火をつけてこの寺院すべてを灰にしてしまった”。「放起一把無情火必剥剥燒得烈焰騰天」fang k'í y pà vou tsing hò, pí pí p'ò p'ò chāo tē liē yēn t'êng t'iēn, フランス語では“残酷な火をつければその炎はぱちぱちと (pí pí p'ò p'ò [必剥剥]) はせて天にまで達する”。「這兩把骨■⁶⁶」tché leang pà kou ché “この骨は私の両親のものだ”⁶⁷。「一把椅子」y pà y tseè “一脚の椅子”⁶⁸。「一把傘」y pà sán “一本の傘”。「一把菜」y pà t'sái “一束の草”。「一把扇」y pà chèn “一本の扇”。「一把刀」y pà taò “一本のカミソリ。刀”など。

第五に、さらに以下の言い方が注記される。「一個巴掌打在臉上」y ko pa tchang tà tsái lién chang

⁶⁰ 英訳本ではここに「彼は私に背を向けた」が入る。

⁶¹ 英訳本では訳文の主語が「彼」である。

⁶² 英訳本ではここに「つまり“よく考えよ”」という一文がある。

⁶³ 英訳本ではここに「彼に目配せする」もある。

⁶⁴ 糸偏に「共」である。

⁶⁵ 英訳本では「鍵を持って施錠せよ」と訳す。

⁶⁶ 歹偏に「眞」である。英訳本では「殖」に作る。

⁶⁷ 英訳本では「あなたの」に作る。

⁶⁸ 英訳本ではこの例文の代わりに「椅子三把」「三脚の椅子、座席」という例文がある。

“彼に平手打ちを食らわした”。「該打幾個巴掌」kai tà kī kó pa tchàng “彼は何発か殴られるべきだ”。「巴」pa は pà 「把」とほぼ同じである。従って「把不得」pà pòu te と言えるし、「巴不得」pa pòu te もそうである。「得了把柄」te leaò pà píng “それは今や基礎を得た”。「全意巴鼻」t'suén vou pa pí “これには基礎となるものが何もない”。「沒了把臂」mò leaò pà pí “彼には頼るべきものがなかった”。も見いだせる。「做出把戲」tóu t'chóu pà hí “ぶつぶついう”。「悲劇を演ずる」。同様に「做出戲」tóu pà hí、フランス語で“手品をやる”も同じ。「住了年把」tchú leaò nién bà “この一年すべて”。「百把銀子」pe pà ín tseè “100 両、または銀一塊”。口語では「一百銀子」y pe ín tseè、または「一百金」y pe kīn。「眼巴巴的望着」yèn pa pa tí oúáng tchó “熱い眼差して見る”。

3. 「打」TA について

口語では“ぶつ、打つ”を意味するが、かなり広い幅を持っている。第一に“打つ”を意味する様々な例を、第二に他の用法を述べよう。第一に、マンダリンの命令で行われる鞭打ちの際に。「不打不招」pòu tà pòu tchao “彼は鞭で打たれなければ罪を自白しないだろう”。「打一百筋條」tà y pe kīng t'iao “鞭で 100 回打て”。「各打二十毛板」k'ò tà èul che máo pan “それぞれを 20 回の鞭打ちにせよ”。「板」pan は bamboo とよばれる葦⁶⁹でできた棒であり二つに割られている。この鞭は尻を打つためのものである。「打三百黃桑棒」tà san pe hoàng sang pang “彼を黄色い桑の木でできた四角い棒で 300 回打て”。「打得皮肉肉綻」tà te pí kai jō tchán “彼は鞭打たれたので皮が裂け肉があらわになった”。「我那裡受得這般拷打」ngò nà lì cheòu te tché pòüan kào tà “なぜ私がこのような鞭打ちのひどい拷問を受けるのか?”。

以下は法廷でのことについて使われるというわけではない。「我打你你打我」ngò tà nì, nì tà ngò “私は君を打ち、君は私を打つ”。「不打不成相識」pòu tà pòu tchīng siang tchí “殴ったり殴られたりした後でなければ友情は認識されない”。「你重些打」nì tchóng siē tà “もっと強く打て”。

「怎麼打」tseng mò tà “なぜ、またはどのように私は打つのか?” 「這般打」tché pòüan tà “このように打て”。「他不打你去打物不成」t'ā pòu tà nì, kiú tà k'èou pòu t'chīng “もし彼が君を打たないのなら、彼は行って犬を打つと私は思う”。「與我打那厮出去」yù ngò tà ná sseē t'chou k'iu “この無能者をここから追い出せ”。「與我一步一棍打上廳來」yù ngò y pòu y kouén ta chang t'ing lai “彼を打ちながらここへ連れてこい”。「一拳打倒地」y k'iuén tà táo tí “一回の拳で打ち倒す”。

「拈着雙拳來打」niō tchō choang k'uén lái tà “二つの拳で殴り合いになった”。「把竹篙來打」pà tchou kao lái tà “彼は棒をつかんで打とうとした”。「打得一佛出世」tà te y foe t'chou chí “彼はひどい災難を受けた”。「打破你的鼻子」tà p'ò nì tí pí tsè “私は君の鼻を砕く”。「只一拳正

⁶⁹ 竹のことである。

打在鼻子上打得鲜血迸流鼻子歪在半邊」tchí y kuên tching tà tsái pí tsē cháng. tà te sièn hiue ping lieou, pí tseè ouái tsái pán pien “彼は拳を鼻めがけて打ち込み、血が大量に流れ、鼻も片側に曲がってしまった”。「不是打便足罵」pou ché tà, pién ché má “もし彼は打つのでなければ罵った”。つまり“彼はやむことなく打つか罵るかする”。「不曾打得噪脾」pou ts'êng tà te saó p'í “私は意図的に彼をひどく打ったわけではない”。「燥脾」saó p'í つまり“快い”あるいは“心ゆくまで”も見られる。「速打我個耳光子」liên tà ki ko ôll kouang tsee “彼は同時にたくさんの平手打ちを食らわせた”。

無生物について言うときの例は以下の通り。「器不打成」k'y pou tà pou tching “繰り返し打たれない皿は完成しない”。「打鐵的」tà t'iet “鉄鍛冶”。「鐵打的」t'ie tà ti “鉄でできた”。他の金属についても同様である。「打石頭」tà che te'ou “石を磨く。または投げる”。など。

第二に、フランス語の“する”に常に対応するものがある。例えば「打禮」tà ly “敬意を示す”、“あいさつする”。「打夥兒去」tà hò èll k'iu “道で一つの群れをつくる”、“一団となる”。「打結」tà kié “結び目を作る”、“結ぶ”。「打個死結你越性急他越不同」tà kó ssè kié nì yuē sing kī, t'ā yuē pou k'āi “死んだ(つまり難しくてほどけない)結び目についてあなたが焦るほど解くのが難しくなる”。「打動他的心」tà tong t'ā te sin “彼の心を動かす”。⁷⁰「都打在我身上」tou tā tsái ngò chin⁷¹ “彼はすべてを私に負わせた”。「打夢」tà mong “夢を見る”。残りについて述べると、「打睡」tà chouí “眠る”。「打口⁷²子」tà pài tseè “熱を出す”。「打擲臺」tà lou t'ai “格闘する”、“レスリング競技”。「打牌」tà pài “カード遊びをする”。「打鞦韆」tà tsiou tsiēn “ゆれる”、フランス語では“ブランコする”。「打呼」tà hōu “いびきをかく”。「鼻口内打鼾睡」pí ke'ou núí tà hán chóuí “鼻と口でいびきをかいて眠る”。「打鼓打鑼」tà kou tà lô “ティンパニとシンバルを鳴らす”。「吹打」tchouí tà “楽器を吹き、鳴らす”。“ラッパを吹きティンパニを鳴らす”ともいう。「大吹大打」tà tch'ouí tá tà “あらゆる楽器で大きい音を立てる”。「打扮」tà pan “自ら扮する”。「打扮得如天仙一般」tà pan té jú t'ien siēn y pouán “彼女は女神のように着飾った”、フランス語では“ニンフのように着飾った”。「打聽」tà ting または「探」tà t'ān “尋ねる。調べる”。「打話」tà hoá “話す”。「打誑語」tà kouáng yú “馬鹿なことを言う”。「打謊」tà hoang “嘘を言う”。「打兩個噴涕」tà leang kó pén tí “二回くしゃみをする”。「打發」tà fā “派遣する”。「打發他出去了」tà fā tā kiú leaò “ある人を送る、または帰す、または立ち去らせるために彼の欲しがるものを与える”。「與我打個照面」yù ngò tà kó tcháo mien “彼は顔を私に向けた”。「你打與我個狀兒」nì tà yù ngò kó tchōang èll “私に何か合図、何か考

⁷⁰ フランス語も付されているが意味が全く一緒なので訳出しない。以下では繁を避けていちいち記さない。

⁷¹ 「上」にあたるローマ字表記はない。

⁷² 印刷が不鮮明で判別できない。英訳本では「瘡」kú (u の上の符号は声調を示すものではない) に作る。

えを与えよ”。「打門前經過」tà mèn t' siên king kouo “門または家の前を通り過ぎる”。「打撈起來」tà laô kí lái “水から引き上げる”。「打掃」ta sao “掃除する”。「拍手鼓掌」p' e cheou tà tchang “手で喝采する”。「凍得牙齒相打」tong te yâ t' chî siâng tà “極度の寒さから歯が震える”。

「打下你的驢首來」tà hià nì tì liú cheou lai “私は君の驢馬のような首を斬ろう”。「打點」tà tien “気づく、準備する、調べる”。例えば「要些賄賂打點他」yaô sie hoèi lou tà tien t' a “いくらか金を提供して官職を得よう”。「打水」tà choüi “水をくむ”。「打酒」tà tsiou “ワインを買う、または壺から汲む”。「打火」tà hò “食事を準備する”。「打了中火」tà leaò tchong hò “食事を準備する、または食事をとる”。「打家劫舍」tà kiâ kiê ché “略奪し尽くす、得る”。「打捕野味」tà pou yě ouéi “狩る”。「打圍射獵」tà ouéi ché lã、同上。「打扶手」tà foü cheou “手でつかまるものを提供する”。「不打緊」pou tà kin “易しい物事”。「却打甚麼不緊」k' iò tà chin mô pou kin “一体どんな難しいことがあるのか”。

4. 「一」 YE について

この字は頻出して用法もさまざまであるが、以下の例からはっきりとわかるであろう。「一個」y kó “一つの”、例えば人についていう。「一個」y kó “一つのもの”。「第一」tí y “第一の”。「第二」tí èll “第二の”。「一來」y lái “第一に”。「ニ來」èll lái “第二に”など。「一定」y ting “たしかに”。「一定是他無疑了」y ting che t' a. vou y leaò “確かに彼だ、疑いない”。「這狀子一定是要告的了」⁷³ tche tchoang tsee y ting yao kao ti leao “この問題について考え確信したので私は論じた”。「一定是他們的詭氣」y ting che ta men ti kouei ki “彼の欺瞞と陰謀は疑いない”。「一些」y sie “わずかな”。「一毫」y hao、同上、「一點」y tien、同上。「不見一些下落」pou kien y sie hia lo “誰も彼の逃げた先を知らない”。「並沒有一毫主意」ping mo yeou y hao tchu y “彼はどんな助言も持っていない”。「一毫假借是沒有的」y hao kia tsie che mo you ti “偽りは全く存在しない”。「那有一點真情實意」na yeou y tien tchin t' sing che y “彼は本当の友情や善意の一粒すらも持っていないのか?”⁷⁴「一切」y t' sie “すべて”。「一切文武官員都」y t' sie ven vou kouon youen tou など。“あらゆるすべてのマンダリンたちが一堂に会して”。など。「一切備得齊備」y t' sie pi te t' si pi “すべてそろって”。「萬一」van y “たしかに保証するがそれについていくらか恐れを持って”⁷⁵。「萬一前言不應後語」van y ts' ien yen pou ing heou yu “後の言葉が以前の言葉と符合するか私は心配している”。「各處去訪問他萬一訪得着」ko tch' u k' iu fang ven t' a. van y fang te tcho “私はどこでも探索するが、真なるものにめぐりあえるほど望ましいものはない”。「萬一弄得上手怎麼了得」van y long te chang cheou. tseng mo leao te “もし彼がひとたび手にすることが

⁷³ 英訳本では「要的告了」に作る。

⁷⁴ 英訳本では「持っていない」と否定文に訳す。

⁷⁵ 英訳本では「一万から一までたしかに。確信しているが、いくらかのためらいを含む」と訳す。

できたならば我々はどうでしょうか?”。もし全く疑う余地がないのならば「萬一」van y とは言わずに「萬萬」van van または同義な語をいう。「萬萬不能」van van pou neng “どうしてもできない”。「一發」y fa “同じくらい。ますます”など。「一發說得好笑」y fa chou te hao siao “彼の言うことはますます馬鹿げてくる”、あるいは“非常によく笑えるものだ”。「你一發胡說」ni y fa hou chou “君はますます狂っている”。「畧是他肯做得一發好了」jo che t'a ke'ng tso te y fa hao leaò “もし彼が自ら物事に関わろうとしたならば、きっとより良くなるだろう”。「一發要恨我」y fā yao hen ngò “彼はますます私を憎むだろう”。「你的模樣一發着不得了」ni ti mou yang y fa k'an pou te leaò “彼らは顔を全く見ることができない”。例えばある人に怒っているとき。⁷⁶ 「你一發不是人」ni y fa pou ché gín “君はますます人ではなくなっていく”。

「天子一發着驚道這一發奇了」t'ien tseè y fā tchō kīng táo; tché y fā k'ī leaò “皇帝はますます驚いて言った、「これはますます不思議である」”。「一面」y mien、「一邊」y piēn、「一頭」y te'ou といった語は二回使われねばならない。「一面飲酒一面心裡想」y mien in tsiou, y mien sin li siang “彼はワインを飲みながら同時に心の中で考えている”。など。「一面說一面只管低頭作揖不起」y mien chouè, y mien, tchi kouàn tī te'ou só y pou k'ì “彼はこう言いながら頭を低くたれて礼をし、あえて目を上げなかった”。「一邊食酒一邊問道」y piēn in⁷⁷ tsiou, y piēn vén. taó “彼はワインを飲んでいいる間、同時に尋ねて言った”。など。「一頭走一頭心裡想道」y te'ou tseou, y te'ou sin li siang táo “彼は進み、同時に心で考え、言った”。など。「四人一頭說一頭吃又吃了半日」ssé gín y te'ou chouè, y te'ou k'y yeou k'ì leaò pouan gé “四人は話しながら半日の間食べていた”。

時には同じ動詞の間に「一」という字が挿入されるが、格言や忠告の時に用いる。「光要你去訪一訪」siēn yāo ni k'íu fang y fang “君はまず事がそのようになっている要因を尋ねに行かなければならない”。「如何不去睽一睽」jū hó k'íu tsién y tsién “なぜ君は見に行かないのか”。

「你掙開眼看一看」ni ts'ēng kāi yèn k'án y k'án “目を開いて見よ”。「請你過去談一談」tsing ni kouō k'íu t'ān y t'ān “彼は君に話すよう誘っている”。「一反一正」y fán y ching “逆になったり正しくなったりする”。「一上一下」y chang y hià “上になったり下になったりする”。「一來一往」y lái y ouang “行ったり来たりする”。「弄的一折一磨」long tí y tche y mò “彼はふさわしくない方法で処理した”。「一」y は“まるごと”を意味する。「白白的坐了一夜」pe pe ti só y yé “一晩私は無駄に座って待った”。「一夜無眠」y yé vou mien “一晩眠れぬままである”。「我也替他嚇出一身汗來」ngò yé t'ít'ā hē tc'hou y chin hán lái “私は彼のためにびっくり仰天し全身から汗が流れた”。「我們一齊動手」ngò mēn y t'sí tóng cheou “我々全員が同時に彼へ突進した”。「一都說了」y y toū chouè leaò “彼はすべてをひとつずつ言った”。「一頓教罷了」y y ling

⁷⁶ 英訳本では「“君の礼儀作法は全く見られたものではない”つまり“不作法”と訳す。

⁷⁷ ローマ字表記からすればこの文の動詞は「飲」であろう。

kiāo pá leaò “私はあなたの命令すべてを了解しました”。「一」y は時に“～の後”として使うことができ、そのときはその部分のフレーズに tsieóu [就] が後続する。「你如今一説我就明白了」nì jû kin y choüë. ngò tsieóu ming pe leaò “君が言えば、私はすぐそのことを理解する”。「一看就知道了」y k'án tsióu tch'í táo leaò “そこで君が見ればただちにわかるだろう”。「等其他一到就」teng t'ā y tao tsióu “彼が来るまで待て”など。他の若干の言い方を付しておこう。「一去打斷你的物筋」y k'íú. tà t'ouön ni t'í keou kin “もしおまえを捕まえてその犬のような筋を砕けば”。「不覺吃了一飽」pou kió, k'y leaò y paò “彼は知らず知らずに、または徐々に満腹になるまで食い尽くす”。「吃了一驚」k'y leaò y king “彼は恐れにおそわれた”。「一霎時」y chá ché “瞬時に”。「一下筆」y hià pí “一本の筆を動かす”。⁷⁸「一口」y ke'ou “一口で”。「一生」y seng “全生涯を通じて”。「一心」y sin “心の底から”。「一萌」y méng “発芽しはじめるとすぐ”。

5. 「来」LAI と「去」K'IU について

「来」lái は元来“来る”を意味し、「去」k'íú は“行く、出発する”を意味する。しかし、これら二語の用法は非常に複雑であるので、それらを個別の点にして説明することが必要であると思われる。

第一に、その用法によって一緒に、または別々に置かれる。「想来想去」siang lái siang k'íú “ここここで考えて、あるいは心全体で熟考して”。「訪来訪去」fang lái fang k'íú “あらゆる方策を使って調べる”。「说来説去」choüë lái choüë k'íú “会話して”など。

他の形では、「你那裡去来」ni nà lì k'íú lái “君は一体どこに行きたいのか?”、または“君はどこへ行くのか?”。そしてここで、意味は他の多くの場合と同じように前後のつながりから決定される。「你這厮誰叫你去来」ni tché ssée. choüi⁷⁹ ni k'íú lái “卑しい奴よ、誰がおまえに行くように命じた?”。「看花去来」k'an hoa k'íú lái “我々は花を見にゆこう”。⁸⁰

他の言い方には以下のようなものがある。「我兒你陪相公坐了我去料理茶来」ngò èll ni poéi siāng kōng tsó leaò, ngò k'íú leao lì tch'ā lái “息子よ、私が tch'ā [茶] を淹れに行っている間、客人のそばに侍り歓待せよ”。「只得去了去見」tch'í te k'íú leao k'íú kién “見に行かなければならない”。ここでは「去」k'íú という字が繰り返されていることに注意せよ。

第二に、何かを命じるときには以下の二字を表示せよ。つまり、「拿来」ná lái “取って、来い”すなわち“運べ”。「拿去」ná k'íú “持っていけ”。「起来」k'íú lái “起きろ”。「出来」tch'ou lái “引き渡せ。あるいはここへ出てこい”。「出去」tch'ou k'íú “出ろ。行け”。「看酒」k'án tsióu または「看茶来」k'án tch'ā lái “ワインまたは tch'ā [茶] を運べ”。「去吃茶来」k'íú p'áo tch'ā

⁷⁸ 英訳本は「ちょうど筆を執って」「書き始める」と訳す。

⁷⁹ 漢字「叫」に相当するローマ字表記がない。

⁸⁰ 英訳本では「我々は花を見に行った」と訳す。

lâi "tch'â [茶] を準備しに行き、運んでこい"。「與我拿過來」yù ngò nâ kouo lâi "私のために取って、私のところまで運べ"。

第三に、「來年」lâi niên "将来くる年に"。「去年」k'iu niên "過去の年に"。「來世」lâi ché "次の生涯"。「去世」k'iu ché "彼は一生から出る"すなわち"彼は死んだ"。「將來」tsiāng lâi "次のある時に"。例えば「將來畢竟要上這條路」tsiāng lâi p'í king yāo chang tché t'iaô lou "私はいつかこの道を進まねばならないだろう"。フランス語では"その日が来るに違いない"。

第四に、時々「來」lâi と「去」k'iu は"できる"を意味する。例えば「學不來」hió pōu lâi "私は学ぶことができない"。「說不去」chouë pōu kiú "それについて言うことができない"。または"私は言うことができない"。「買不來」mái pōu lâi "私は買うことができない"。「賣不去」mái pōu k'iu "私は売ることができない"。「衆人你看我我看你那裡答應得來」tchóng gín nì k'án ngò, ngò k'án nì, nà lì tá ing te lâi "皆が互いを見ていて、誰が相手に返答できるだろうか" ⁸¹。「弄他銀子不來」long t'ā in tseè pōu lâi "彼に銀について欺くことはできない"。「費了萬千氣力到最低娶不來」féi leaò ván ts'ien k'y lí, táo tí ts'ú pōu lâi "彼はあらゆる努力を払ったが彼女を妻に迎えることはできなかった"。など。

第五に、「來」lâi はよく「起」k'í と組み合わせられて"はじめる"という動詞に相当する。「提起來」ty k'í kuén lâi "彼は戦いを始めた"。「提起筆來」ty k'í p'í lâi "筆をとって"。「他就手舞足蹈起來」tā tsióu cheò vòu tsoù táo k'í lâi "彼は手をたたき足で踊り始めた"。「哭將起來」kou tsiāng k'í lâi "彼は泣き嘆き始めた"。「埋怨起來」mái yuné k'í lâi "彼は害を忍んで怨み始めた"。「說起來」chouë k'í lâi または「論起來」lún k'í lâi "話し始める、または論争し始める"。そしてこの言い方はよく"そこでこのように"を意味する。「想不起來」siang pōu k'í lâi "私は記憶に呼び起こすことができない"。「滿面笑臉起來」mouàn mien siáo lien k'í lâi "不意に彼は明るい顔を見せてほほえみだした"。「拍手笑起來」p'ě cheò siáo k'í lâi "彼は手をたたき笑い出した"。「兩下打起仗來」leang hià tà k'í tcháng lâi "彼は二度棒で打ち始めた"。⁸²「把起來」pà k'í lâi "起こす、立ち上がる"。「都擺列起來」tōu pài liè k'í lâi "彼は(例えば什器のような)すべてのものを取り出して並べ始めた"。「甦醒起來」soū sing k'í lâi "彼が元気を取り戻した時。例えば、ワインの酒気を追い出したとき"。「照你這等說起來」tcháo nì tché teng chouë k'í lâi "彼が言ったことに従って"。⁸³「又弄起鬼來」yeóu long k'í kouè lâi "また彼は皆を不安にした"。⁸⁴

この同様な意味において「起」k'í という字を省略することができる。例えば「說來不差」chouë

⁸¹ 英訳本では「誰かが返事をするのを待っている」と訳す。

⁸² 英訳本では「双方が戦い始めた」と訳す。

⁸³ 英訳本では「君が言ったことに従って」と訳す。

⁸⁴ 英訳本では「また彼はすべてを混乱させた」と訳す。

lâi pòu tch'ā “これは本当にその通りで誤っていなかった”。「説來甚是有理」choue lâi chin ché yeòu lì “彼が言ったことは本当に道理になつてゐる”。「看來」k'ān lâi は「説來」と同じで、「據你説來」k'íu nì choue lai “君の言うことに従つて”とそんなに違わない。「你且聽我説來」nì tsìè t'ing ngò tao lâi “今私が言おうとすることを聞け”。

第六に、「出」t'chou “前進させる。出る”などと組み合わされることも少なくない。「拿出来」na t'chou lai “引き出して運べ”。「發出來」fa t'chou lâi “道徳的な意味で、發揮せよ”。「恐惹出火來」k'ong je t'chou ho lai “私は大きな騒ぎを引き起こすのではないかと心配だ”。「惹出火來」ge t'chou ho lâi “彼は不幸を招いた”。「弄出把戲來」long t'chou pá hi lâi “彼は騒ぎをはじめ不安を生じさせた”。「忙進去尋兩件衣服出來」mang tsin k'iu sin leang kien y fou tch'ou lai “彼は衣服を探して持つてくるため急いで中へ入つていった”。「説不出甚麼來」choue pòu tch'ou chin mo lai “彼は口を全く動かすことができなかった”。「待我用個法子弄他出來」tai ngò yong kó fā tsee. long t'a t'chu lâi “私が彼を出てこさせるようにしかるべき策を考えつきうまくやるのを待て”。「生出這個怪物來」seng tchou tche ko kouai oue lâi “彼はこの怪物を世に生み出した”。

「少不得生出病來」chao pou te seng tchou ping lâi “君は疑いなく病にかかっている”。「文子是肚裡做出來的」vèn tseè ché tóu lì tsó t'chū lai tí “この文章は私の心からのものだ”。つまり“脳から創造した”。「這樣苦事是我自家惹出來的」tche yang k'ou ssee che ngo tsee kia. ge t'chu lâi tí “この不幸を私は自ら呼び寄せた”。「露出本相來」lou t'chu pen siang lâi “彼はついに自らを現した”。「露出馬脚來」lou t'chu ma kio lâi、「弄壞了事」long hoai leao ssee “彼は仮面を外して、または隠してあつたものを明らかにして事をすべてだめにした”。

第七に、「原」yuên または「元」yuên と組み合わされる。例によってどんな意味で使われるか学べるであろう。「我只道是誰原來正是你」ngò tchi tao chi choui. yuên lâi tching ché nì “私は彼が誰かと思つていたが、なんと君であつたのか”。⁸⁵「原來是你教我只顧認了半日白想不起」yuên lâi ché nì. kiao ngò tchi kou gin leào pouan ge, pe siang pou k'í “ああ、君であつたのか。私は一日の半分をかけて知ろうとしたがわからなかつた”。「原來這才是真正恩人」yuen lai tche ts'ai che tchin tching nghên gín “ああ、なんと、彼は真の恩人である”。「原來令中原該如此」yuên lâi ming tchōng yuên kai jù tseè “なんと、これは私の運命の中にあることなのだ”。「原來此事有許多委曲」yuên lâi t'seè sseé, yeòu hiù tō ouèi k'íou “このことについてはややこしいことがたくさんあつて非常に複雑だ”。「原來有許多瑣碎」yuên lâi yeòu hiù tō sò souí “私はこれには多くの細々した事があると思う”。「元來就是你」yuên lâi tsióu ché nì “結局君自身であつたのか”。「從來」t'sōng lâi と「原來」yuên lâi は同じで、特に否定文が続く。例えば「從來不肯見面的」t'sōng lâi pòu k'èng kién mien tí “かつて彼の顔を見たことがない”。「原來無此理」yuên lâi vou t'seè lì “決してこのような道理、規則にはならない”。この意味では「來」lâi を省略できる。例えば「原也不該」yuên yè pòu

⁸⁵ 英訳本ではこの後に「または“誰かと思つていたが、君は自ら現れた”」という部分がある。

kāi “これは決してなされてはならない”。「承虧了你」yuèn k'ouēi leaò nì “私は本当に君に厄介をかけた”。「你系是个甚麼人」nì yuèn ché kó chín mo gīn “君は一体誰だ?”

第八に、他の動詞と組み合わせられる。「攞令」「令攞來」hò lóng lái “同意する。近づく”、または“近寄る”。「走攞來」tseò lóng lái “彼は近くへ寄った”。同様に、「又來甥說」yeóu lái hóu chòuē “彼はまた馬鹿げたことを言いに来た”。「這厮又來了」tché ssée yeóu lái leaò “見よ、またこの卑しい男がいる”。「又來纏我起來」yeóu lái t'chén ngò k'ì lái “君はまた私に迷惑をかけている”。「跑到庵裡去」p'áo táo fòu lì k'íu “彼は街へ走った”。同様に、「有兩個來月」yeòu leang kó lái yuē “すでに二ヶ月と少しである”。「一連尋了十來日」y liên sin leaò che lái ge “彼は連続して10日以上尋ねた”。「至來日」tchí lái ge “次の日”。「你好似來頑」nì hào mǎ lái t'eoú “君は馬鹿げたことをしつこく言う”。「不向來由」pòu vén lái yeòu “彼がなぜ来たのかを問わない”。「聽得說話有些來歷」t'ing tē choue hoa yeòu siē lái lì “言われたことは根も葉もないことではないように思われる”。「來歷不明」lái lì pòu ming “彼が誰でどこから来たのか知らない”。

6. 「道」TAO について

「道」Táo について口語で使われるところから簡単に述べる。ここでは常に“話す”を意味し、常に chòuē [説] と組み合わせられる。「因說道」īn chòuē táo “そのために、取り上げるべき話を彼は話した”。⁸⁶「因問道」īn vén táo “そこで彼から尋ねようとして言った”。「誰教道個不字」chòuē kàn táo kó pòu tseé “誰があえて反対するだろうか。”フランス語では“誰が思いきってノンと言うだろうか?”。「喝道」hò táo “彼は怒り声をあげて言った”。「告道」káo táo “彼に忠告して言った”。「罵道」má táo “彼は罵りながら言った”。など。

この字は nì と組み合わせるとよく疑問文を導く。「你道好笑不好笑」nì táo hào siào pòu hào siào “言え、私は訊く、これは笑うに値するかどうか?”。「你道奇也不奇」nì táo k'ì yè pòu k'ì “私に言え、これは不思議かどうか?”。「你道我講得是麼」nì táo ngò kiàng tē ché mò “どうか言ってくれ、私は正しいことを言ったのかどうか?”または“私は公正を求めたのか”。フランス語では“私が正しいかどうかあなたに尋ねる”。「你道喜得怎生模樣」nì táo hì tē tsèng sēng mòu yang “かつて彼がこんなにも喜びではしゃいでいるのを君らは見たことがあるか?”。「你道還是那一說好」nì táo hòan ché nà y chòuē hào “言え、これらの考えの中でどれがよいと思うか?”。「你道這樣首飾使工錢也費多少」nì táo tché yang cheòu chě. pién kōng t' siēn yè fēi tō chāo “この首飾り、または一つの細工物はいくらか言え”。このような言い方において、多くの場合この「首飾」cheòu chě、女の頭の飾りである種の装飾品のような、それについて言われるものが先頭に

⁸⁶ 英訳本ではこの訳文の前に「口を開いて話した」という訳もある。

来る。ここではヨーロッパの言語のようには決してできない。⁸⁷しかし pién [便] や、後ろの「也」 yè は現地の言葉においては使われず、ngò vén nì, tsó tché kó cheou che féi leaò tō chàò kōng tsièn [我問你、做這個首飾費了多少工錢] のように言う。

この意味においては、「道」 táo のかわりに「説」 choue をおくことができる。例えば「你説氣得過氣不過」 nì choüe, k'ì te kouó k'ì pou kouó “君自身が言え、それはなされるべきか？”⁸⁸ 「你説叫他氣死不氣死」 nì choüe, kiáo t'ā k'ì sseè pou k'ì sseè “言え、彼は非常に怒っているかどうか？” フランス語では“それは彼を怒らせるに十分ではなかったか？”。「你説叫他喜殺不喜殺」 nì choüe kiáo t'ā hì chá pou hì chá “これは彼を喜びで殺すであろうか？”。「你説還是鬧熱的好冷的好」 nì choüe hoán ché náo je tí hào, leng tán tí hào “私に言え、仕事をしているのがよいのか、暇なのがよいのか？”。あるいは“君は友が熱烈であるのといくらか冷淡なのとどちらに賛成するのか？”。

「道」 táo はよく「理」 lì と組み合わせられる。例は手近にある。「是何道理」 ché hó táo lì “これは一体どんな方法なのか？”。または“君は何を私に語るのか？”。「到彼地再作道理」 táo pì tí, ts'ài tsó táo lì “我々がそこへ行けば、何を行うべきなのかがわかるだろう”。口語では「道理」 táo lì は“学識”⁸⁹を意味する。

「難道」 nán táo は元来“言うのは難しい”を意味する。しかし実際には疑問文に使われる。そしてこの形は我々ヨーロッパの言語ではまれにしか起こらないが、中国語ではよく現れるのである。「難道是我眼睛花了」 nán táo ché ngò yèn tsiing hoà leaò “暗黒が私の目を塞いだのだろうか？”。⁹⁰ フランス語では“私は幻を見たのだろうか？”。「難道我耳聞的就是虛你耳聞的就是實」 nán táo ngò èll vén tí tsióu ché hiù, nì èllèll vén tí tsióu ché che “この耳で私が聞いたことは即ち嘘で、君の耳へ告げられたことが真実であるというのか？”。⁹¹ 「難道人便沒有鬼也沒有」 nán táo gín pién mǒ yeòu, kouèi yè mò yeòu “人がいないということは靈魂すらもないというのか？”つまり“家に全く人がいないということがありうるのか？”「便」 pién と次の「也」 yè のような分詞は我々が見落としてしているものであり、優雅な会話について我々があまり気にしていないものである、ということにも注意せよ。「難道還想着我」 nán táo hoán siàng tchǒ ngò “まだ彼は私のことを考えているのだろうか？”。「難道」 nán táo は特にこの場合時を表し、“彼は～したいのだろうか”、“彼は考えているだろうか”、“～ないようにしているだろうか”などを表す。「難道世上有這等聰明人」 nán táo chí cháng yeòu tché têng ts'ōng mǐng gín “世界にかくも賢い人があり得るのだろうか？”。「難道小弟就不是同年」 nán táo siaò tí tsióu pou ché tōng nièn “私が思うに、私は君と同

⁸⁷ たとえばフランス語では Combien coûte...? (～はいくらですか?) のように「いくら」を示す語が先に来る。ここで述べられている中国語との違いとは、このことであろう。

⁸⁸ 英訳本では「または怒るべきか否か？」という文が付される。

⁸⁹ 原語 doctrina。英訳本では doctrine (教義、学説) である。

⁹⁰ 英訳本では「または、“私に目が付いていないと君は言うのか？”という文が付される。

⁹¹ 原文では「～真実である」で終わり、疑問文にはなっていない。

じ年で学位を得たのではなかったか？”⁹²

最高の文章家は、例が示すように文末に pòu tch'ing 「不成」を加える。「難道罷了不成」nân táo pá leàò pòu tch'ing “これはやめてしまおうと君は思うか?”。「你難道忘了不成」nì nân táo oüâng leàò pòu tch'ing “君は彼を忘れてしまったのか?”。「難道是假的不成」nân táo ché kià tī pòu tch'ing “これは虚構ではないと君はいうのか?”。「難道怕他飛了進去不成」nân táo p'á t'ā fēi leàò, tsín k'íu pòu tch'ing “君は彼がそこへ入っていきこうとしているのを心配しているのか?”。「難道怕你飛上天去不成」nân táo p'á nì fēi cháng tī'ên k'íu pòu tch'ing “君が天へ帰ろうとしているのを私が懸念しているというのか?”。「難道就打我不成」nân táo tsiou tà ngò pòu tch'ing “そのために私は殴られねばならないのか?”。「難道当真餓死不成」nân táo táng tch'ing⁹³ ngó ssee pòu tch'ing “私は直ちに飢えて死ぬというのか?”。「難道是我聽錯了不成」nân táo ché ngò t'ing tsó leàò pòu tch'ing “私は図らずもちゃんと聞いていなかったというのか?”。「難道都拿了去不成」nân táo tōu nā leàò k'íu pòu tch'ing “彼はすべて荷造りしてしてしまったのか?”。「難道我哄你不成」nân táo ngò hōng nì pòu tch'ing “私が君を欺こうとしているというのか?”。「難道風流二字都被前面人占盡不留的一些餘地與我後面人受用不成」nân táo fōng liêu éüll tsée, tōu pí ts'ien mién gín chén tsín pòu liêu y siè yù tī yú ngò heóu mién gín cheóu yóng pòu tch'ing。私がこの文を提示したのは、十分に長いではあるが、不明なところが全く生じないようによく整理されているからである。fōng liêu 「風流」とは、あらゆる不正な欲望とは相容れない、我々の古代の歴史が賛美する、ローマ人と呼ばれるあの騎士なる先人たちのように振る舞う人々のことである。

この「不成」pòu tch'ing は「難道」nân táo が先行しなくとも⁹⁴見られる。例えば「莫不吃了我不成」mò pou k'í leàò ngò pòu tch'ing “彼は私を食おうというのか?”。「我莫非說謊不成」ngò mò fēi choué hoang pou tch'ing “私が君に嘘を付くというのか?”。「不打你打狗不成」pòu tà nì, tà keòu pòu tch'ing “もし私が君を打たないのなら、君の代わりに私は犬を打つというのか?”。

7. 「見」KIEN について

「見」という字はフランス語の“みる”のように、耳に関することにも、目と同じくらいよく利用される。その用法を若干の例で明らかにしよう。

「看不见」k'án pòu kién “私には見えない”。「聽不見」t'ing pòu kién “私には聞こえない”。「你見鬼」nì kién kouèi “君は死者の霊を夢に見ている”。「看得见」k'án tē kién “物事の意義が軽い”。⁹⁵「見利」kién lì “もうけに注意する”。「愚見」yü kién “私の意見では”。「高見」

⁹² 学位を得るとは科挙に及第することである。

⁹³ tch'ing ならば「真」よりは「成」のほうが適当であろう。英訳本では「真」chin に作る。

⁹⁴ 英訳本ではここに「上品な用法の中に」が入る。

⁹⁵ 英訳本では「見ることができ、目に見える」と訳す。

kāo kián “あなたの意見では”。「可見」k'ò kián “了解することができる”。「不知有件事見教」pou tchī hó ssée kián kiao “私にあなたが求めるものを私は知らない”これは洗練された言い方である。言葉通りには、“あなたが私に教えることが何なのか私は知らない”。または“私はむしろあなたから教わりたい”。「蒙大人見招」mông tá gin kián tchāo “あなた方の威厳ある主ぶりが私を呼んだ”。「蒙」mông は“受ける”。上品な言葉でもある。「請見教一番」t'sin kián kiao y fān “あなたが私に教えるよう私は願う”。「列位不要見笑」lie oūéi, pou yāo kián siáo “私はあなた方に切に願う、笑いを収めよ”。我々が文人たちの前で我々の文書を読み上げるときはこのように上品に言うのである。⁹⁶ 「不見歡喜」pou kián hoan hì “彼は何の喜びのしるしも見せなかった”。「見勢頭不好自然該走」kián chí t'eòu pou haò, tsée jên kāi tsèou “君は全く抵抗できない間は逃げるべきだ”。フランス語では“状況が悪い間は逃げるべきだ”。「問他何以見得」vén t'ā hó y kián tē “なぜそれがそのように思われるのか彼に訊け”。または“どうやって彼はそれを証明するのか?” 「也不見得」yè pou kián te “これははっきりしない”。または“おそらくそうなるだろうが、何があったのかはわからない”。この言い方は次の例でも文末に置かれる。「也不可知」yè pou k'ò tchī “物事がはっきりしない”。「见他說得有理」kián t'ā chouē tē yeou lì “彼は道理なく言っているわけではないように見える”。など。⁹⁷

8. 「心」 sin について

Sin [心] は元來心と呼ばれる人体内部の一部分である。魂にかわって暗喩的に使われたり、理解することや愛することに関して使われたりする。

第一に、「留心細看」lieòu sīn sí k'án “注意して見る、または読む”。「平心論理」p'ing sīn lún lì “全くゆがんだ偏見なく、平静な心であることについて論議する”。「自不小心」tsée pou siào sīn “私は彼に十分には注意しなかった”。あるいは“関心や誠実さを払わなかった”。「須小心着意」siū siào sīn tchō y “用心深く事を進めねばならない”。「他的心腸是決不改變的」t'ā tī sīn tch'àng ché kuē pou kai pién tī “彼の心は決して変わらない”。「我心如鐵石至死不移」ngò sīn jū tiē ché, tchí sseè pou y “私の心は鉄や大理石のようであり、たとえ死なねばならなくとも変わることはないだろう”。「時刻技在心頭」ché kē fáng tsái sīn t'eòu “いつも彼はそのことを考えている”。

第二に、「我心上有事」ngò sīn cháng yeou ssée “私は心に大きな心配事がある”。「我有一件事惱心」ngò yeou y kián sseé naò sīn “私には心を苦しめるようなある事がある”。「日夜掛心」gē yè kouā sīn “彼は夜も昼も心配している”。「他心上必然不樂」t'ā sīn pī gēn pou lō “彼が悩ん

⁹⁶ 英訳本では「中国人は文人の前で作品を読むときは敬語を介して言うのである」と訳す。

⁹⁷ 英訳本ではここで「これらの例文の多くで、学習者は kien [見] が他の動詞の前で使われると“うけとる”という意味になることと、その場合受動態になるということとを学んでほしい」という文が続く。

でいるのは疑いない。「心中納悶」sin tchōng nă mén “彼の心は沈んでいる”。「心中好生痛切」sin tchōng hào sēng t'óng ts'ie “彼の心は本当に打ち砕かれている”。「心下甚是躊躇」sīn hià chīn ché tcheōu t'chū “非常に解きがたく解決しない”。あるいは“心の中で彼は何をすべきか考えている”。「躊躇」tcheōu t'chū とは“熟考する”である。「何須這等心急」hò siū tché tēng sīn tsīāo “なぜ君はそんなに悩んでいるのか?”。「心如刀割」sin jū tāo kē “この心は刀で斬られたかのような”。「怒從心上起」nou t'sōng sin cháng k'ì あるいは「心頭火起」sīn t'eòu hò k'ì “短気な心が燃え上がった”。

第三に、「分明是他有心拒絕我」fēn míng ché t'ā yeòu sin k'iu tsüē ngò “彼が私を棄てる意志を持っていることは明らかなだ”。「你心上的人來了」nì sin cháng t'í gīn lái leàò “見よ、君の愛する人が来た”。「他心上十分愛你」t'ā sin cháng ché fēn ngái nì “彼は心から君を愛している”。「火热的心腸」hò ge t'í sīn t'chāng “心が火のように燃えている”。「難道是鐵做的心腸」nân tao ché tiē tsó t'í sin t'ch'āng “彼の心は鉄でできているというのか?” 「不可做真心的」pou k'ò tsò fōu sin t'í “恩知らずにならぬよう気を付けよ”。「我的心肝」ngò ti sin k'ān “我が愛する人よ”⁹⁸。愛の、そしてこびる言葉。「恩情似漆心意如膠」ngēn ts'ing ssée t'si, y sin⁹⁹ jū kiao “固い親近感で結ばれている”。「所責在心扱¹⁰⁰不在形文」sò kouei tsái sin teòu, pou tsái hīng kiao “身体ではなく心の一体感がもっとも大切だ”。「口頭不是心頭」k'eòu t'eòu pou ché sin t'eòu “あることを言いながら別のことを考える”。

第四に、¹⁰¹「搔不着心頭的癢」sāo pou tchō sin t'eòu ti yàng “私は彼の心がかゆがる所をこすることができない”。フランス語では“私は心の求めるところをひっかくことができない”¹⁰²。「心癢難撓」sin yàng nân nāo “心のむずがゆさを搔くのは難しい”。¹⁰³「我的心情只愛銀子不顧恩情」ngò t'í sīn t'sīng tchì ngái ín tseè, pou kóu ngēn ts'ing “私は金銭だけを愛し、恩義については顧慮しない”。「費了多少心機」fèi leàò tō chāò sin ky “彼はどんな道具を考案しなかったのか?” 「勞你費心」lāo nì fèi sīn “私は君がこの仕事を引き受けないよう求める”。¹⁰⁴「是出於自家的本心」ché t'chou yǔ tsée k'ia ti pèn sin “彼自身の好意である。誰も彼に強いていない”。「扠心自問」fòu sin tsée vén “手を心に置いて、自らに問う”。フランス語では“手を意識に置く”。「各人自去摸著心頭」k'ò gīn tsèe k'íu mō tchō sīn t'eòu “みんなが考えるために出ていき、手を心に置

⁹⁸ 英訳本では「文字通りには、“私の心臓と肝臓”である」という一文が加わる。

⁹⁹ ローマ字表記によれば「意心」となる。

¹⁰⁰ 英訳本では「扱」は「頭」に作る。

¹⁰¹ 英訳本ではここに「sin [心] が感情または意識に言及する例である」という一節を加える。

¹⁰² 英訳本では「私は彼の不満を解消できない」と訳す。

¹⁰³ 英訳本では「人の恩情や感情を抑えがたい」という訳もある。

¹⁰⁴ 英訳本では“私はあなたを出費ないしは心の努力で煩わせた”、つまり“私はあなたの関心に感謝している”、“あなたの世話に恩義を感じている”と訳す。

く”。「取他心肝來做下酒」t'sù t'ā sin kân lái tsó hià tsiòu “彼の心臓と肝臓を引き裂いて食い尽くしたい。食事してしまった”。「知心腹的」tchī sin fòu ti “もっとも親密な友”。「難得你這一片好心」nân te nì tché y p'ién hào sīn “君が持っているような良い心には出会うのが難しい”。「正說到心腹相愛之處」t'chìng choüe táo sīn fòu siang ngái tchī tch'ú “彼らは情愛に満ちた話を始めていた”。「有些心事」yeoù siē sīn ssée “彼は気に掛けている”。「這願心」tché yuén sin “この願望”。「是我自幼許的心願」ché ngò tsee yeoù hiù tì sin yuén “私はその誓いを少年の頃に立てた”。「人面鳥心」gín mién niào sīn “人の顔だが小鳥の心を持っている”。フランス語では“移り気な。無節操な”。

9. 「氣」 K'I について

この字は元来「氣」と書かれねばならず、“空気”あるいは“意識されず、凝縮することがなければ落ちてくることもない靈妙なもの”を意味する。この字に“イネ”を意味する「米」を加えるのである。したがって「氣」は元来、炊いた米から高く立ち上る蒸気を指す。そしてその故に「氣」は使われない。しかし「氣」は中国人によって、集められた諸例からもわかるように、ちょうど我々の“魂、精神”のような語として暗喩的に使われる。

第一に「氣」の物質的なものへの使用について。「寒暑之氣」hàn chù tchī k'í “寒さと暑さ。悪天候。あるいは不健全な気持ち”。「天氣」tiēn k'í “天候”。「天氣暖了」tiēn k'í nuàn leào “天氣が暖かい”。「天氣落雪」tiēn k'í ló sùe “雪の降る天氣”。「已有三更天氣」y yeoù sán kēng tiēn k'í “第三夜警時の時間である”¹⁰⁵。「雲氣」yún k'í “雲”。「風氣」fōng k'í “風”。「春氣」t'chūn k'í “恵み深き春”。「秋氣」ts'ieōu k'í “新秋”。「地氣」tí k'í “風土”。「濕氣」ché k'í。「潮氣」tch'áo k'í、同上。「臭氣」tch'eóu k'í “悪臭”。「霉氣」moéi k'í “カビ”。「元氣」yuén k'í “根元となる湿氣”。「力氣」lì k'í “肉体的な力”。「血氣」huě k'í “血と動物の魂”。

「虚氣」hiū k'í “虚弱な”。「壯氣」tchoáng k'í “強い”。「霧氣」óu k'í “霜、霧の立ちこめた空気”。「精神氣力」tsīng chīn k'í lí “身体的に強い状態”。「氣色」k'í sě “表情”。例えば病氣のようにみえるとき。同様に、人相について。「花氣氤氳」hoā k'í īn yūn “隠された¹⁰⁶心地よい花の香り”。「鮑魚之氣」pào yú tchī k'í “塩漬けの魚が発するある種の悪臭”。「氣毬」k'í k'ieóu “空気の入った遊戯用のボール”。¹⁰⁷フランス語で“ボール”。「最是踢得好脚氣毬」tsouí ché tī tē hào k'í'ò k'í k'ieóu “ボールをうまく蹴れ”。「氣息」k'í sī “呼吸する”。「只見一個人氣吁

¹⁰⁵ 原語 *tertia vigilia*。ローマ時代の夜の時間区分で、日没から日の出までを四等分して第一夜警時 (*prima vigilia*) などと呼ぶ。第三夜警時とはその三番目の時間帯である。

¹⁰⁶ 英訳本では「繊細な」と訳す。

¹⁰⁷ 英訳本では「遊びに使うフットボールあるいは膀胱」と訳す。当時の競技用ボールは豚などの膀胱で作っていた。

吁的趕來」tchì kién y kó gín k'í hiū hiū tī kàn lái “彼は人が大きくあえぎながら追いついてくるのを見る”。「氣吁吁」「息切れ」。フランス語では“息切れした”。

第二に、「氣」は心の状態、特に怒りを示す。「憤氣」fén k'í “怒り”。「怒氣」nou k'í、同上。「忿氣」fèn k'í、同上。「着氣」tchǒ k'í “怒っている”。「着了重氣」tchǒ leaò tch'ông k'í “彼は大きな怒りを発した”。「出氣」tch'ou k'í “怒りを発する”。「且唱個曲兒出這一肚子不平之氣」ts'ie tch'áng kó ki'ou êll, tch'ou tché y tou tseè pou p'ing tch'í k'í “心を静めるため、私に古い曲を一曲歌え”、または“私を本気で怒らせた怒りをさしあたり和らげるように”。「一肚」y tou “腹全体”。内容の代わりに容器を、心の代わりに腹を用いて表現するという、よくある形である。¹⁰⁸「受了一肚皮的悶氣」chéou leaò y tou p'í tī mén k'í “悲しみが彼の心に満ちた”。

「肚皮」tou p'í “腹の皮”というのは腹が伸ばされたかのような悲しみの深さを表している。「教人把肚子也氣破了」kiaò gín pà tou tseè yè k'í p'ó leaò “君は私に怒りを発させる”。または“怒りで私を破裂させる”。フランス語では、“そのせいで私は怨みを爆発させる”。「洶氣」t'ao k'í “争いを始める、立腹する”。「洶了一場漚氣」taò leaò y tch'àng ngheōu k'í、フランス語では“彼はひどい痛癢を受けた”。「漚氣」ngheōu k'í “これは私を苦しめる”。「厭氣」yēn k'í “これによって不本意になる”。「還要受他的漚氣」hoàn yāo chéou t'ā tī ngheōu k'í “まだ彼の馬鹿さかげん、変な性格、不正を耐えねばならない”。など。¹⁰⁹「氣不消」k'í pou siao “怒りがまだ収まらない。休まらない。彼は怒りを我慢しない”。「争悶氣」tsèng hién k'í “理由なく怒る”。

「叫他莫惹悶氣」kiaò t'ā mó gè hién k'í “自分と全く関係ないことで理由なく怒りを発しないよう彼に忠告せよ”。「不要氣惱」pou yāo k'í naò “願わくは怒るなかれ”。「與他令氣」yù t'ā hō k'í “私は他人と争う”。「氣的發昏」k'í tī fā hoēn “怒りのため我を忘れる”。「得」tè の代わりに「的」tī である。「忍氣吞聲」gin k'í t'ün ch'ing または「忍聲吞氣」gin ch'ing t'ün k'í “堪え忍び怒りを抑える”。「氣死人」k'í sseè gin “狂気へ、死へとかりたてる”。フランス語で“激怒させる”。「不怕他不活活的氣死」pou p'á t'ā pou hoüö hoüö tī k'í sseè “怒りと苦惱で彼が死ぬことを君はおそれてはならない”。フランス語では“必ずや彼は苦惱によって死ぬ”。「氣生氣死」k'í sēng k'í sseè “大きな怒りを発する”。「斷氣」toüón k'í “死ぬ”。「氣已斷了」k'í y toüón leaò “彼はもう死んだ”。

第三に「氣」k'í は暗喩的に使われる。「義氣」y k'í “正義への熱愛”。「福氣」“幸福”。「和氣」hō k'í “平和な”。「傲氣」ngáo k'í “傲慢”。フランス語では“誇り”。「大氣」tá k'í “雅量ある”。「小氣」siao k'í “臆病な。狭い心”。「正氣」t'ching k'í “正しい心。信義に厚い人”。「豪氣」haō k'í “心が勇敢で強いこと”、フランス語で“勇氣ある人”。「氣吞雲夢」k'í t'ün yün móng “彼は海を丸ごと飲み込む”。我々の場合この隠喩は悪い意味を持っているが、

¹⁰⁸ 英訳本ではここに「この表現はヘブライ語にもあった」という一節が加わる。

¹⁰⁹ 英訳本では「我々はまだ彼のあふれる怒りを耐えねばならない」と訳す。

中国語ではそうではない。「雲夢」は俗に「洞庭湖 tóng t'ing hóu と呼ばれる最大の湖である。

「小弟是有氣」xiào dì ché yèò k'í “私は落ち着いていて剛直である”。「迷氣」mí k'í “愚鈍な”。

「瘋氣」 “愚かな”。「精氣」tsing k'í “生き生きしていて精力的な”、フランス語では“生き生きして活動的な”。「筆氣」pí k'í “文章が優雅な”、フランス語では“文章の雰囲気”。「氣象」k'í siáng、フランス語で“雰囲気。物腰”¹¹⁰、たとえば「聖人之氣象」ch'ing gin t'ch'í k'í siáng “これには聖人のおもかげがある”。または“聖人が姿を現した”。

第四に、中国語で「靈氣」ling k'í というと、知性ある魂のことになる。「神氣」chín k'í “靈的な魂”。「志氣」t'ch'í k'í “強靱な意志を持つ心”。「知氣」t'ch'í k'í “認識する心”。さらに言えば、これらの語が中国のキリスト教徒の用いる「靈魂」ling hoén という二文字よりも人の魂を正しく指示しているかどうかは他の人々が判定するだろう。

10. 「口」K'EOU について

「口」ke'òu “人の口”。先のパラグラフの「氣」k'í と同じくらいこの字もさまざまな用法を持つ。「不該破口罵他」pou kai p'ó k'èòu má t'ā “君は彼をかくもひどく罵っては行けない”。¹¹¹

「與他角口」yü t'ā kió k'èòu または「講口」kiang k'èòu または「拗口」si k'èòu または「各口」k'ò k'èòu “他人を言葉で侮辱する”。フランス語で“非難する”。「符其口」k'ien k'í k'èòu “彼の口を閉ざす”。「符」k'ien は“手綱”を意味する。「交口厮爭」kiào k'èòu ts'è ts'eng “互いに口論する”。たとえばある物の値段について。「是非口舌」ché f'ei k'èòu ché “言葉による争い”。

「口吃」k'èòu k'í “どもりの。言葉が流暢でない”。「簧口」hoang k'èòu “へつらってだます人”。フランス語では“口のうまい人”。「佞口」ning k'èòu “こびる人”。「利口」lí k'èòu “辛辣に罵る”。「毒口」tóu k'èòu “毒を持つ口”。「長口」t'ch'ang k'èòu “おしゃべりな”。「多口」t'ò k'èòu “饒舌な人”。「口滑」k'èòu hoá “すべりやすい口”。「只怕哇子家口滑引出是非」t'ch'í p'á oüā t'seè kiā, ke'òu hoá in t'ch'òu ché f'ei “私は彼が少年であるがゆえにあることをべらべらしゃべり、それで口論が発生しないように心配している”。「走了口」t'seòu leào k'èòu “彼は話した”。

“彼は秘密を守らなかった”。「是我多口了」ché ngò t'ò k'èòu leào “私の方がおしゃべりだった”。フランス語では“私は口が軽すぎた”。「黄口小兒」hoang k'èòu siào èil “幼い少年”、フランス語で“非常に若い人”。「有口才」yeòu k'èòu ts'ái “雄弁である。よくしゃべる”。「口臭」k'èòu t'cheòu “不潔な口。悪臭のする息”。「漱口」seóu k'èòu “口を清める”、フランス語で“口をゆすぐ”。「檀口」t'án k'èòu “快い香りのする口”。「禁口」kín k'èòu “口を支配する”。

¹¹²病人に害になるものを食べさせないようにする時。「乾口」k'án k'èòu または「口渴」k'èòu k

¹¹⁰ 英訳本では「態度」という訳語も加わる。

¹¹¹ 英訳本では「文字通りには、“口を開いて彼を罵る必要はない”」という一文が加えられている。

¹¹² 英訳本ではここに「食欲を制御する」という訳が入る。

ǒ “のどが渴く。のどの渴き”。「吃不上口」k'í pòu cháng ke'òu “吐き気のため食べることができない”。「一口乾了」y ke'òu kân leaò “彼は一息で飲み干した”。“彼はそれを一気に飲み下した”。「呷了漱口湯汁」hiã leaò k'í ke'òu t'āng tchě “彼は何口か食べた”。「吐口」t'òu ke'òu “心を開く”。「出了這口氣」tc'hoũ leaò tché ke'òu k'í “彼がこの機会を与えようとしたとき”、または別の意味で“彼が怒りを吐き出そうとしたとき”。「看他的口氣」k'án t'ā t'í k'e'òu k'í “彼が言うことを察して”。または“彼の意図するところを”。「怎消得這口惡氣」tsēn siaō tē tché ke'òu ngò k'í “これはどのように忍耐すればよいのか”、フランス語では“それを堪え忍び消化することができようか?”。「嘆了一口氣道」t'án leaò y ke'òu k'í táo “彼は嘆息して言った”。など。「随口」soui ke'òu または「信口」sin ke'òu “準備なしで即興でしゃべる”。「恨不得一口氣吞了他」hén pòu tē y ke'òu k'í t'ūn leaò “彼を一口で飲み下した”。「衣不遮身食不充口」y pòu tchē chīn, chě pòu tch'ōng k'e'òu “困窮の極みにある”。文字通りには“文字通りには身体を覆う衣服も口を満たす食物もない”。「他口雖不挽我心自了全」t'ā ke'òu soui pòu chōũ, ngò sīn tseè leaò gēn “彼が何も言わずとも、私にはよくわかる”。「落於虎口」lǒ yū hòu ke'òu “彼は虎の口へ入った”すなわち“彼は困難に陥った”。「口鼻全無氣息」k'e'òu pí ts'uēn vou k'í sí¹¹³ “生きている印が全くない”。“死ぬ”。「只有一口游氣兒在這裡」tchì yeou y ke'òu yeou k'í êll tsái tché lì “ただかすかな息が唇の周りをうろつきながら留まっているだけだ”、フランス語では“虫の息だ”。「讀其詩真令人口舌俱香」toũ k'í chì, tchīn līng gīn ke'òu che kiũ hiāng “ただその歌を読むだけで口全体が極めて甘い香りに満たされる”。フランス語では“口を香りで満たす”。「閉了口令不得」k'āi leaò ke'òu hō pòu tē “彼は口を開けたままであった”。「目睜口呆言語不得」moũ tsēng ke'òu ngai yēn yu pòu tē “彼は目を開けたまま、口を開けたままで一言も発することができないままであった”。「有口無言」yeou ke'òu vou yēn “彼はあえて話そうとしなかった”。「有口無心」yeou ke'òu vou sīn “君は私を言葉でだます”。「徒費許多口舌」t'òu féi hìu to ke'òu che “彼は何と多くの言葉をわけもなく浪費したのか?”。「誇口狂言」k'òuā ke'òu k'òuāng yēn “極めて愚かなほら話”。「誇了大口」k'òuā leaò tá ke'òu “馬鹿げたほらを吹く”。「口裡大喝道」ke'òu lì tá hō táo “彼は大声で叫び言った”。など。「口中念念有詞喝聲道疾」ke'òu tchōng nién nién yeou ts'eē, hō chīng táo tsi “口で呪文をぶつぶつ言いながら高い声かつ早口で彼は言った”。など。(ここでは盛大な魔法が行われているのである)「尚還口強」chàng hoān ke'òu ki'àng “まだ無理やり話す”。フランス語では“まだ君はつべこべ言うのか?”。「牲口」sēng ke'òu または「頑口」te'òu ke'òu “乗るための動物”。「騎了頑口」k'í leaò te'òu ke'òu “役畜に乗る”。フランス語では“乗るための家畜に”。「海口」hài ke'òu “海獣”。「山口」chan ke'òu “山の隘路”。「湖口」hoũ ke'òu “湖の口”。「大口岸」tá ke'òu ngán “大きな商業地”。「八口家」pa ke'òu kiā “八

¹¹³ 英訳本ではここに「彼の鼻から息がしない」という訳文が加わる。

人家族”。フランス語では“八つの口”。「口縫不閑」ke'ou fūng pō k'ai “割れ目がない”。「十字路口」chě tsée lou ke'ou “四つ辻”。フランス語で「交差点」。¹¹⁴「一口棺木」y ke'ou kouan mù “一つの棺”。「一口猪」y ke'ou tchū “一頭の豚”。「一口鍋」y ke'ou ko “鍋”。フランス語で“フライパン”。「裏口瓦」kī ke'ou oüà “数枚の屋根瓦”。など。

11. 「手」CHEOU について

「手」cheou “手”。¹¹⁵「以手加額」y cheou kia nghe “手を額に置く”。「兩手俯伏在地」leang cheou fou föu tsái tí “彼は手で支えながら続けざまに身を地面へ投じた”。「親手筆跡」ts'in cheou pi tsi “自らの手で記した文字”。「背一個女人的手筆」che y kó niu gín tí cheou pi “これは女性の筆跡だ”。フランス語では“それは女性の書体だ”。「要交付親手」yāo kiáo fóu ts'in cheou “これは自らの手で交付しなければならない”。「却不在手頭」kió pōu tsái cheou te'òu “私は手元にもっていない”。「匹手」¹¹⁶p'i cheou “手から手へ”。「一雙雪白的手兒」y choāng suě pě tí cheou èll “雪のように真っ白な手”。「手帕」cheou p'á “手ぬぐい”。フランス語は“ハンカチ”。「與他手拉着手同去」yü t'ā cheou lä tchó cheou t'ông k'íú “彼と手を繋いで一緒に出かけた”。「分手而去」fēn cheou èll k'íú “彼は手を離して出て行った”。「手挽着手一步一跌」cheou oüàn tchó cheou y p'ou y tié “彼らは互いに手を引いて一歩ごとに転んでいた”。「汚着我的手」ōü tchó leaò ngò tí cheou “彼は私の手を汚した”。「冰了我手」pīng leaò ngò cheou “彼は私の手が氷のように冷たくなるのに任せた”。「不肯放手」pōu k'èng fāng cheou “彼は手を離したがらなかった”。「包管唾手而成」pao kouan t'ó cheou èll tc'híng “私はそのことを素早くかつ易しく完成させることを保証する”。フランス語では“器用さをもって”。「砲手」p'áo cheou “大砲を撃つ人”。フランス語では“砲兵”。「水手」chouí cheou “水夫”。フランス語では“船員”。「書手」chū cheou “書記、秘書”。「賣手」mái cheou “商人”。「手高」cheou kao “非常に有能な”。「老手」lào cheou “極めて熟練した”。「手段」cheou touon “練達”。「做的一手好針錢」tsó tē y cheou haò tchīn seen “彼は針の使い方を極めてよく知っている”。「今日有了帮手」kín jě yeò leaò pang cheou “今や私は助けてくれる人を得ている”。「來得帮手」lái te pang cheou “彼が助けに来た”。「不便弄手脚」pōu pién long cheou kió “計略や陰謀の余地がない”。「大家慌了手脚」tá kiā hoang leaò cheou kió “皆がとても混乱していてどんな方法も考えつかない”。「手下」cheou hiá “ある人に従属している”。フランス語では“ある人の下位にいる”。「一班游手子弟」y pan yeou cheou

¹¹⁴ 英訳本ではここに「k'au [口] は量詞としても使われる」という一文が入る。

¹¹⁵ 英訳本では代わりに「「手」はもともと腕全体をさすが、普通の用法では手を意味する」という解説が入る。

¹¹⁶ 英訳本は「交手」に作る。

tseè tí “無業の若者の集団”。「後手」heóu cheou¹¹⁷ “ひそかにやった盗み”。「手厮」cheou sseē “便所”。「淨手」ts'ing cheou または「解手」kiai cheou “腹を下す”。

12. 「大」TA について

「大大小小」tá tá siaò siaò “大きいものと小さいものすべて”¹¹⁸ 「大話」tá hóa “大言することば”。「大胆」tá t'ân “非常に勇気のある”。「天大的造化」t'iēn tá tí tsaò hóa “天のような最高の運命。最大の恵み”。「胖大」pò'üân tá “太っていて大きい”。「大和尚」tá hó cháng “最高位のボンズ”。¹¹⁹ 「官馬大路」koüan mà tá lóu “幅の広い道” または “マンダリンと騎士たちが通る王城の道”、フランス語で “大通り”。「老大」làò tá または 「大老官」tá làò koüon “兄弟のうち最年長あるいは年長の生まれの人をこう呼ぶ”。¹²⁰ 「老大徒傷悲」làò tá t'òu chang pei “老人は理由もなく過ぎ去った年月を嘆く”。「大爺」tá yé “都市の指導者をこう呼ぶ”。¹²¹ 「大踏步」tá t'ä pou “歩幅の大きい早い歩み”。「大房」tá fāng “正妻”。「不大要紧」pou tá yao kin “易しい、または本当に重要なわけではない”。「大行皇帝」tá hīng hoàng tí “死んだ皇帝”。「大便」tá pién または 「大恭」tá kong “腹を空にする”。など。

13. 「好」hao について

おそらくどの字もこの字ほど頻繁に現れることはないだろう。その用法を以下の分だけ選び付加する。「多少是好」tō chao ché hào “どのくらいで十分になるのか”。「怎生是好」tsèng sēng ché hào “それではどうしたらよいのか”。「這等甚好」tché tēng chín hào “この方法が最も良い”。「好便是好只是」hào pién ché hào tchì ché “たしかによいのだがしかし”。など。「思想那裡去好」ssē siāng nà lì k'íu hào “彼はどこへ帰ったらよいか考えていた”。「這事越弄得不好」tché ssée yüē long tē pōu hào “このことはより悪い状態にある”。「你也不好我也不好」nì yè pōu hào ngò yè pōu hào “我々は双方共に良くない”。「不好了有妖怪在這裡」pōu hào leaò yeòu yāo kouái tsái tché lì “私は失敗した。ここには幽霊がいる”。「你是斯文君子怎麼好行這小人事」nì ché ssē vên kiun tseè. tsèng mó hào hīng tché siaò gīn ssée? “君は洗練された名誉ある男なのになぜつまらない与太者すらほとんどしないようなことができるのか”。「愈加好了」yü kiā hào leaò “ずっとよくなるだろう”。「若肯見機可知好麼」jō k'ēng kién liēn. k'ò tchī hào mó “もし私が彼に同情してくれ

¹¹⁷ 英訳本ではここに「「間接の。相続人」という訳が入る。

¹¹⁸ 英訳本ではこの例文の前に「tá にはさまざまな意味があるが、そのほとんどはここに挙げてある」という一文がある。

¹¹⁹ 原文 bonzius. 日本語 [坊主]、つまり仏僧のこと。

¹²⁰ 英訳本ではこの訳の代わりに「敬意を表す言葉」と解する。

¹²¹ 英訳本ではこの訳の代わりに「位の高い人を呼ぶ言葉」をする。

たならば本当によいのだが”。この文では第一に mo [麼] という字は疑問ではないということ、第二に「見」kién という字は「可憐」k'ò lién または「可憐見」k'ò lién kién というよりも感謝の念が強いということに注意せよ。「不曾見這等好笑」pou t'sēng kién tché tēng hào siao “かくもおかしいのを私は見たことがない”。「好看」hào k'an “見るのに美しい”。「不好相着」pou hào siāng k'an “彼は悲運の相をもっている”。または一般的には“醜い”。「好吃」hào k'i “非常によい味”。フランス語で“おいしい”。「如今好說話」jōu kīn hào k'i fán “今や食事の時間だ”。「我性子不是好惹的」ngò síng tseè pou ché hào gè tī “私は生まれつきこのようであるから私を怒らせることはない”。¹²²

「好麼」hào mó “君は元気であるか”。「好些」hào siē “少し良い”。「不得好」pou tē hào “私は回復することができない”。「好了」hào leào “私は回復した”。「病好了」píng hào leào “病気から立ち直る”。「好好一個人若斷了茶飯豈不餓死」hào hào y kó gīn jō toūn leào t'chā fán, k'é pou ngò ssè “健康な人から食物と飲料を奪っておいて、飢えて死なないというのだろうか”。語をどのように配しているか注意されたい。¹²³

「還是好了性命一般」hoan ché hào leào síng míng y pouān “彼は君の命を守っているのと同じだ”。「不好意思」pou hào y ssē “それはほとんど他の意味にはなりえない”。この「意思」y ssē¹²⁴は以下のような意味を持つ。例えば「有些意思」yeou sie y ssee “十分に良く” 例えば彼の言ったことあるいはしたいことが。「不是好意」pou ché hào y “彼は良い意図を持っていない”。「恰好」k'ia hào “時間的に都合良く”、フランス語では“まさに、ちょうど、折良く”。「如此恰好」jū tseè k'ia hào “このようにすれば十分意にかなう”。¹²⁵「一條好漢」y ti'áo hào hán “強くたくましい人”。フランス語では“勇敢な人”。「也好」yè hào “それはうまくいくだろう”。フランス語では“通る”。「好話」hào hoá “よい言葉”または逆の皮肉の意味で“君は全く正しいことを言っているか?”。“君は我々に善意を高くふっかけた”。「美好」mèi hào “美しく良い、完璧だ”。「好多」hào tài “とにかく”、フランス語では“どんな値であっても”。「你好歹来走走」ni hào tài lái tseou tseou “私は絶対に君に私の所まで来て欲しい”。「好好的」hào hào tī “急がず。徐々に”。¹²⁶フランス語では“おだやかに”。または“どうか怒らぬよう”、または“君自身を責めるな”、または“君の都合に合わせて”、または“健康を楽しむ”。しかし、

¹²² 英訳本ではこの改行はない。

¹²³ 英訳本では以下の一段落が追加されている。「Háu [好] はよく“愛する、求める”の意味で動詞として用いられる。しかしこういった意味は卑俗な言葉、または口語よりも書面語により多く現れる。Min í háu hioh 「敏而好[○]學」 “聡明にして学習意欲に富む”。t'á háu tán kwoh ching 「他好[○]技國政」 “彼は政治について語るのを好む” ここには「好」の右上に去声に読むことを示す圏点がついている。また、本稿ではこの次の段落を改行したが、原文ではそのまま続けてある。

¹²⁴ 英訳本では漢字表記がない。

¹²⁵ 英訳本では「それは全く正しい」と訳す。

¹²⁶ 英訳本では「非常によい」という訳語もある。

一つの文においてたくさんの意味があるからといって、中国語を不明瞭なものと思っはならない。なぜなら文脈から明白に意味が了解されるのであるから。「好生没趣」hao sēng mǒ t'ü "彼は自らを嘲るべきもののように装った"。¹²⁷この「好生」hao sēng はものごとを強調する。「好生放心不下」hao sēng fang sin pou hia "私は全く心を休めることが出来ない"。

「好¹²⁸貨」hao hó "愛の豊かさ"。「好¹²⁹色」hào sè "色欲に耽った"。「好¹³⁰勇」hào yong "勇敢な。強いと思われたがる人"。「好¹³¹酒」hào tsiou "大酒飲み"。「好¹³²玩」hào oüan "ほら吹き"。フランス語で"ひょうきんな"。

14. 「待」tai について

第一に“待つ”を意味する。「你不走待怎的」ni pou tseou tái tsèng t'í "君は去らないで何を待っているのか?。「待我问他」tái ngò wén t'ā "私が彼に尋ねるまで待て"。「待我費些苦心」tái ngò féi siè k'òu sīn "私がいくらか努力することが必要だろう"¹²⁹「待我回覆他」tái ngò hoèi fou t'ā "私が彼に返事を与えるまで待て"。

第二に、“待遇する”を意味する。「早晚伏待」tsao oüan fou tái "朝夕腰を低くしてつくす"。「管待」¹³⁰koüàn tái "厚遇する"。たとえば「少不得安排些甚麼管待他」chao pou t'ě ngān pái siè chin mó koüàn tái t'ā "彼をもてなすために少し準備しなければならぬ"。「我将好意待他他反意禮待我」ngò tsiang hao y tái t'ā, t'ā fān vou li tái ngò "私は本当に心を込めて彼をもてなしたが、彼は私を侮って邪険に扱った"。¹³¹「相待」siāng tái "互いにもてなす"。「優禮相待」yeou li siāng tái "交際においてある人をその地位が求める以上に高位の礼でもてなす"。「有福之人人服待意福之人人服待人」yeou fou tchi gín, gín fou tái, vou fou tchi gín, fou tái gín "運命が気に入った人は奴隷を有し、気に入られない人は奴隷になるものだ"。

第三に、「待」tai は「要」yāo と組み合わせられて意味するところを予想するのがとても難しいことをあらわす。¹³²「欲待要去我欲要去」yǒ tái yāo pou, k'íu ngò yǒ yāo k'íu "私は行きたいような、しかし行きたくないような"。この意味で「待要」tai yāo の二文字が加わることについて私はまだ分からない。¹³³「你待要上天我就随着上天」ni tái yāo chang t'íēn, ngo tsiou soui tchó cháng t'íēn "もし君が天に昇るのなら私はすぐ後を追って君と(天へ)昇ろう"。「你待要探

¹²⁷ 英訳本ではこの前に「彼は怒りやすい、激しやすい」という訳文が入る。

¹²⁸ 「好」の右上に去声に読むことを示す圏点がついている。

¹²⁹ 英訳本では「私がいくらか努力するまで待て」と訳す。

¹³⁰ 英訳本では「歓待」に作る。以下すべて同。

¹³¹ 英訳本では「つまり恩に仇で報いた」という訳も加わる。

¹³² 英訳本では「場合によっては未来分詞に近くなる」という一文が付される。

¹³³ 英訳本では「ここで「待要」というフレーズが現れて“行きたくない、行きたい”をあらわすが、私は待考としておく」と訳す。

海我就随着探海」nì tái yāo t'ān hǎi, ngo tsiou soui tchō t'ān hǎi “もし君が海にはいるのならば私も君と入ろう”。

第四に、以下の例からもよく分かるように、“その時。～の時に”をあらわす。「却待要走」k'iō tái yāo tseou “しかし彼が逃げようとしたときに”、など。「却待要出門」k'iō tái yāo tch'ōu mēn “彼が出て行こうとしたその時に”。「我待睡些兒」ngo tái chui sie eul “…の時に、私はほとんど寝ていなかった”。など。「我待要說來又打我也」ngo tái yāo chouě lái yeou tà ngo yè “私が話そうとすると彼はすぐ私を打った”。これは第三の点と同じ意味になる。

第五に、「吃」k'i “たべる”と組み合わせられる。「懶待吃」lán tái k'i “私は食物をほしがらない”。フランス語では“食欲がない”。「我心裡本不待吃」ngo sin lì pèn pōū tái k'i “私はまだ空腹ではない”。もしある人が「待吃」は“食物を待つ”を意味するのだと言っても、私は反対しないだろう。

第六に、「你殺了我的師待走那裡去」nì chǎ leào ngò tǐ sēe, tái tseou nà lì k'íu “おまえ達は私の師匠を殺して、一体どこへ逃げようとするのか?”。「我去待來」ngò k'íu tái lái “私は出かけるがたぶん戻ってくる”。など。

15. 「敢」kan について

第一に、「敢」は元来“あえてやる”を意味する。「誰人敢來阻當」chōui gīn kǎn lái tsoù táng “誰があえて障害をもたらそうとするのか?”。「不敢食葷」pōū kǎn ché hoēn “私は差し控えてそれを食べない”。「葷」hoēn は仏教徒が食べることを禁じるタマネギ、ニンニク、肉、魚などであると理解せよ。「不敢則聲」¹³⁴pōū kǎn tsě chīng “彼はつぶやきもしない”。「鼻子也不敢輕噴一噴」pí tsè yè pōū kǎn kīng hioú y hioú “彼はあえて鼻で息をしようとはしない”。フランス語では“彼には息をする大胆さはなかった”。「有一句話可是敢說」yeou y kiū hoá, k'ò chí kǎn choüě “私は話すことを許されていないが、一言言いたい”。我々はこの中の「可是」k'ò chí を用いずに「可是說得的麼」k'ò chí choüě tē tǐ mò とも言える。

第二に、「敢」はよく“私は思う”、“私はこう考える”、“私には思われる”などにあたる。「敢是王生」kǎn chí oüāng sēng “私は彼が Oüāng Sēng [王生] だと思う”。フランス語では“私は彼が Ouang 青年だと思う”。「敢就是他」kǎn tsióu ché t'ā “私はだまされていないのなら、それは彼であると思う”。「遠遠望着敢是哥哥來也」yuén yuén oüāng tchō, kǎn ché kō kō lái yè “遠くから見て、やってくる人は私の兄であろう”。「敢被野猫拖了」kǎn pí yè máo t'ō leào “それはたぶん野良猫に取られたのであろう”。「敢是有些鬚鬚」kǎn ché nì yeou siē t'sée sū “私がだまされていないければ、彼は少し髭がある”。「敢是你哄我」kǎn ché nì hōng ngò “私は君が私をだましたの

¹³⁴ 英訳本では「則」を「噴」につくる。

だと思ふ”。「你敢錯認了」nì kàn t'sò gīn leàò “たぶん君はよく理解していない”。「你敢飢麼」nì kàn kī mò “君は空腹なように私には見える”。フランス語で、“あなたは少し空腹ではないか?”。「敢是肚飢了」kàn ché tóu kī leàò “私がだまされていないなら、君は飢えて苦しんでいる”。「一時間就肚疼起来敢是要養娃娃子」y tchī kien tsiou tóu t'óng k'ì lāi. kàn ché yāo yàng oūá oūá tsee “彼女は突然苦痛を感じた。私は生まれようとしていると思う”。「一時間」y tchī kien “突然に”、「養娃娃」yàng oūá oūá “子供を産む”に注意せよ。「我昨日與你取笑你敢是惱了」ngò tsò gě yú nì t'sù siáo. nì kàn ché nàò leàò “昨日私は君に冗談で笑わせたが、君は私に怒っているように思う”。「敢怕隨後收拾家私也來山上入夥」kàn p'á soui heóu cheóu ché kiā ssē. yè lāi chān chàng gě hò “すぐに君が家財道具をまとめ、または家具を集め、そしてこの山に登って我々の仲間に入ると私は信じる”。「敢怕也只在早晚到也」kàn p'á yè tchì tsái tsáo oūàn táo yè “そのうち、朝か夕べかに私は彼が来ると思う”。「這早晚敢待來也」tché tsáo oūàn kàn tái lāi yè “今日彼は来るだろうと私は思う”。

第三に、これが示す意味と同じ他の語がある。第一に「多管」tō kouàn。たとえば「多管未及至五旬」tō kouàn ouéi kī tchí òu sūn または「多管是未及五旬」tō kouàn ché ouéi kī òu sūn “私が思うに彼はまだ50歳には達していない”。「多敢是他」tō kàn ché t'ā “彼であることは疑いない”。とも言う。第二に「管情」kouàn ts'ing。たとえば「管情比你先到」kouàn ts'ing pì nì sien táo “彼は君よりも早く着くと思う”。「管情就好了」kouàn ts'ing tsióu haò leàò “そのものごとはずぐに良くなるだろうと私は思う”。または“早く、容易に君は回復すると私は固く信じる”。「管情一些事兒沒有」kouàn ts'ing y siē ssée eūll mó yeòu “この点で何も恐れることはないと思う”。第三に「怕」p'á。たとえば「只怕此是未起」tchì p'á t'sèè chì ouéi k'ì “彼はこの時間ではまだベッドから起きていないと私は思う”。「恐怕不好」k'òng 'p'á pòu haò “私にはそれが良いとは思えない”。

多くの字をここで同じ方法でもって示すのは易しいことである。しかし私の言ったことはいくらか与えた例で十分だ。ことに、中国語はかくも豊饒なのであるから、¹³⁵説き尽くすことはできないであろう。¹³⁶私がこの後に取り扱う品詞も、新しくかつより大きな熱意を学習者に求めるはずである。

(待続)

付記：本稿は文部科学省 21 世紀 COE プログラム「アジア地域文化エンハンシング
研究センター」による研究の一環である。

¹³⁵ 英訳本ではここに「同じ方法で集めて」という一節が入る。

¹³⁶ 英訳本では「ある字を例示するフレーズを集めることは学習者のために非常にすぐれた方法である。そうして学習者はその用法を理解するであろう」という一文が加わる。